

2010年度
単位互換（遠隔授業用）
受講の手引き



高等教育コンソーシアム信州
The Consortium of Higher Education in Shinsu

目 次

	遠隔授業を受講される皆さんへ	1
1	受講にあたっての注意事項	2
	・長野県内大学単位互換に関する協定書 ー抜粋ー	3
	・遠隔講義システム活用授業における申合せ	4
2	eChes（イーチェス）の利用方法	6
3	受講の手続について（各大学の受講申し込み先並びに遠隔授業窓口一覧）	8
4	遠隔授業時間割一覧	9
5	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧	10
6	シラバス	12
	【前 期】	
	英語基礎Ⅱ（たてなおしの英語）	12
	ドイツ語（初級）Ⅰ	14
	基礎自然科学（数理系）Ⅰ	16
	日本国憲法	18
	看護基礎理論	20
	物理学の世界	22
	英語基礎Ⅰ（たてなおしの英語）	24
	発達・学校臨床の実際	26
	社会の中の個人として生きる	28
	国際看護学	30
	大学院生向け英作文	32
	【前期 完全 e-Learning 科目】	
	電子出版と社会	34
	【後 期】	
	哲学と政治	36
	ドイツ語（初級）Ⅱ	38
	民主主義について	40
	社会学	42
	医用生体工学	44
	機械システム工学通論	46
	環境マネジメント	48
	生態学B	50
	現代中国事情	52
	新聞と私たちの社会（信濃毎日新聞寄附講義）	54
	大学院生向け英作文	56
7	大学別学年暦・通常授業講義時間	58

遠隔授業を受講される皆さんへ

高等教育コンソーシアム信州
推進チーム会議リーダー
信州大学理事・副学長 赤羽貞幸

平成22年4月より信州大学・長野看護大学・佐久大学・諏訪東京理科大学・清泉女学院大学・長野大学・松本歯科大学・松本大学の長野県内8大学による「高等教育コンソーシアム信州」が、大学教育のレベルアップを図るために本格的な遠隔授業を開始します。この遠隔授業は、高等教育コンソーシアム信州の「遠隔講義システム」を活用し、県内8大学の先生方によって実施される遠隔授業です。

この遠隔授業は、県内8大学の単位互換に関する協定に基づき実施されますので、取得単位は受講者が所属するそれぞれの大学で定めるところによって認定されます。これまでは、講義を行う大学へ出かけて行って受講する必要がありましたが、今年からは自分の所属する大学で他大学の先生の授業を受講でき、時間を有効に使うことができます。自分の大学では開講されていない分野の授業を自分の大学で受講し、単位が認定されることになります。この授業を自分の所属する大学で受講することによって、不足の単位を補うことも可能となります。

近年は大学でも社会でも教養教育の重要性が叫ばれています。自分自身の教養を高め、人間力を高めるためには、幅広い分野での学修を必要とします。この遠隔授業がそのための一つの役割を果たすことになるにちがいありません。本年度開講される授業は、毎日配信され、8大学の先生方がそれぞれの専門の授業を意欲的に担当します。県内8大学の学生諸君が、この「単位互換制度」と「遠隔授業」を有効に活用されますことを期待しております。

この受講の手引きは、受講者が受講に当たっての手続き、遠隔授業の一覧、授業のシラバス等をわかりやすく解説した冊子です。受講希望者はこの冊子をじっくりお読みいただき、積極的に受講の手続きをお願いいたします。これらの授業の受講が皆さんの充実したキャンパスライフにつながることを期待しております。

1 受講にあたっての注意事項

この冊子では、長野県内の大学が連携し「遠隔講義システム」を活用して開講される授業（以下「遠隔授業」）について紹介しています。

この遠隔授業は、学生の皆さんが、自分の大学から移動することなく、長野県内の他大学の授業を受講することが可能になります。遠隔授業は、通常の授業を受講する際と異なる点が幾つかあります。ここでは、その注意すべき点などをQ&A形式で記載しますので、受講をする際には必ず読んでください。

Q：遠隔授業を受講するには、どうしたらよいですか？

A：遠隔授業の受講を希望する場合は、学生の皆さんが所属する大学の学務（教務）担当窓口に申し出て、自分の大学の受講票とは別に「遠隔授業受講登録票」を提出してください。なお、大学によっては、通常の受講登録で行う大学もありますのでご注意ください。（詳細は、8ページ「3 受講の手続について」を参照してください。）

Q：遠隔授業の開始はいつですか？

A：遠隔授業は、授業を提供する大学（配信大学）の学年暦に沿って開講されます。この冊子では、各授業のシラバス「授業計画」欄に1回ごとの授業日程を記載しています。学生の皆さんが所属する大学の学期（授業開始日）前に、他大学の遠隔授業が始まる場合があります。このような場合も、極力、第1回目の授業から受講してください。

また、大学によっては、授業日数の確保のため、1回程度、通常の曜日ではなく他の曜日に振り替えて開講する場合がありますので、必ず授業日程を確認してください。

Q：遠隔授業を受講したいのですが、自分の大学の授業時間と遠隔授業の授業時間が異なり、授業の一部を受講出来ない場合はどうしたらよいですか？

A：遠隔授業は、授業提供大学の時間割に沿って行われます。例えば、「14時00分～15時30分」に開講される遠隔授業を受講した場合、自大学の3時限「13時00分～14時30分」と4時限「14時40分～16時10分」の2時限が受講出来なくなることもあります。受講計画をする際は十分注意して計画してください。

Q：自分の大学の行事でやむを得ず授業を受講出来ない場合は、どのような扱いになりますか？

A：遠隔授業は、原則としてその時間に遠隔講義室で受講するようにしてください。しかしながら、学生の皆さんが所属する大学の都合により、やむを得ず受講出来ない場合もあります。遠隔授業では、そのような場合を想定し、全ての授業を録画して、高等教育コンソーシアム信州の授業支援システム「eChes（イーチェス）」上で閲覧出来る様にしています。なお、授業ごとに指示がある場合がありますので、シラバスの「遠隔授業に関する注意」欄も必ず目を通してください。

Q：振替授業日など通常と違う曜日で授業が行われるときはどのようにになりますか？

A：遠隔授業は、授業提供大学の学年暦に沿って行われます。大学によっては、学期中の祝・祭日により特定の曜日の授業日数の調整のため、通常の曜日と異なる曜日に振り替えて授業をする場合（例えば、「月曜日」の授業を「水曜日」に行う）があります。この場合、曜日を振り替えて授業を行う大学と、通常の曜日で授業を行う大学の間で、学生の受講する授業の重複や、開講講義室の重複が生じてしまいます。

これらの際は、原則として自大学の学年暦（学事スケジュール）にしたがって受講してください。その場合の受講出来なかった遠隔授業は、授業の録画を「eChes（イーチェス）」上で学習することにより受講することとなります。

Q：遠隔授業で課されるレポートなどはどのように提出するのですか？

A：遠隔授業では、遠隔講義システム以外に、高等教育コンソーシアム信州の授業支援システム「eChes（イーチェス）」を併用します。学生の皆さんは、このeChesを利用して、レポートを提出するこ

とができます。eChes では、レポート提出以外に、教員からのお知らせ、授業に使用する資料の配布等でも利用します。アクセスの仕方については、6 ページの「2 eChes (イーチェス) の利用方法」を参照してください。

Q：遠隔授業で、発言したり授業担当の教員に質問をする場合には、どのようにすればよいですか？

A：遠隔授業では、受信側の学生も備え付けのマイクを通じて発言することが出来ますので、積極的に質問や意見を出してください。

Q：遠隔授業で取得した単位はどのように扱われますか？

A：遠隔授業は、長野県内単位互換協定に基づき実施されますので、学生の皆さんが所属する大学の単位として扱われます。成績通知については、学生の皆さんが所属する大学から行われます。

以下、参考

長野県内大学単位互換に関する協定書 一 抜 粋

長野県内大学は、相互交流及び教育の充実を図ることを目的として、下記により単位互換を行うことを合意する。

記

1 参加大学

- (1) 信州大学
- (2) 長野県看護大学
- (3) 佐久大学
- (4) 諏訪東京理科大学
- (5) 清泉女学院大学
- (6) 長野大学
- (7) 松本歯科大学
- (8) 松本大学

2 実施学部等

この協定による単位互換の実施学部及び研究科は、各参加大学（以下「各大学」という。）が別に定める募集要項による。

3 受入れ学生の呼称

この協定により受け入れる学生は、県内大学単位互換履修生（以下「履修生」という。）と称する。

4 出願資格

この協定に基づく履修を出願できる者（以下「希望学生」という。）は、各大学に在学する2年次以上の学部学生又は大学院学生とし、科目等履修生、研究生及び委託生等を除く。ただし、遠隔講義システムを活用した科目の出願資格は別に定めることとする。

5 履修期間及び受入れ時期

- (1) 履修生の履修期間は1年以内とし、当該学生の履修する授業科目の開設年度又は開設学期とする。
- (2) 履修生の受入れ時期は、原則として学年又は学期の始めとする。

6 受入れ履修生数

各大学が受け入れる履修生数は、授業に支障のない範囲で、受入れ大学が決定する。

7 履修科目及び単位数

- (1) 履修生が履修できる授業科目は、受入れ大学の定めるところによる。
- (2) 履修生が互換できる単位数の上限は、派遣大学において定めるところによる。

8 ガイダンスの実施、履修指導

- (1) 派遣大学は、希望学生に対してガイダンスを行う。
- (2) 派遣大学は、必要に応じて、希望学生に対して履修指導を行うことができる。

9 履修生の受入れ手続

- (1) 希望学生は、受入れ大学の募集要項に定める期間内に、派遣大学にて手続を行うものとする。
- (2) 派遣大学は、希望学生を取りまとめ、必要に応じて授業科目ごとに推薦順位を付して、受入れ大学の長へ受入れを依頼する。
- (3) 受入れ大学は、受入れの可否を派遣大学へ通知する。
- (4) 派遣大学は、出願した学生に速やかに受入れの可否を通知する。

10 履修方法

履修生の履修方法については、受入れ大学の規則等の定めるところによる。

11 試験の実施方法

- (1) 受験上の取扱い及び追試験等の実施については、受入れ大学の規則等の定めるところによる。
- (2) 派遣大学と受入れ大学の試験日時が重複した場合は、原則として受入れ大学の試験を優先し、派遣大学の授業科目については、追試験等の措置を講ずるものとする。

12 成績の通知、管理及び成績証明書の発行

- (1) 受入れ大学は、履修生の成績を派遣大学へ通知する。
- (2) 受入れ大学は、履修生の成績原簿を保管する。
- (3) 成績証明書は、原則として派遣大学が発行する。ただし、必要に応じて、受入れ大学においても発行することができる。

13 単位の授与等

- (1) 履修生が履修した授業科目の成績の評価及び単位の授与については、受入れ大学の定めるところによる。
- (2) 履修生が履修した授業科目の単位の認定については、派遣大学の定めるところによる。

14 検定料、入学料及び授業料

履修生の検定料、入学料及び授業料は、徴収しない。

15 「県内大学単位互換履修生証」の発行

受入れ大学は、履修生に対して県内大学単位互換履修生証を発行する。ただし、遠隔講義システムを利用した科目

においてはこの限りではない。

16 施設等の利用

履修生の履修上必要な施設・設備の利用については、受入れ大学の実情に応じた便宜を供与する。

17 履修生に係る通知

- (1) 履修生が休学、退学等をした場合は、派遣大学は受入れ大学に通知する。
- (2) 履修生が履修している授業の変更、試験日程等については、受入れ大学が派遣大学へ通知する。

18 実務担当者会議

- (1) この協定による単位互換を円滑に実施するため、実務担当者会議を置く。
- (2) 実務担当者会議は、当分の間、高等教育コンソーシアム信州推進チーム会議が兼ねる。

19 実施期日

この協定は、平成 21 年 6 月 29 日から実施する。なお、平成 21 年 4 月 1 日に締結された長野県内大学単位互換に関する協定は、平成 21 年 6 月 29 日をもって廃止する。

20 協定の見直し等

- (1) この協定の改廃は、参加大学の学長間の協議による。
- (2) この協定は、5 年ごとに見直すものとする。

平成 21 年 6 月 29 日

遠隔講義システム活用授業における申合せ

高等教育コンソーシアム信州加盟大学における遠隔講義システムを活用した授業については、下記のとおり取り扱うこととする。

1. 遠隔講義システムを活用した授業の単位互換は、「長野県内大学単位互換に関する協定書」の定めによるほか、この申合せに基づき実施する。
2. 受信大学は、必要に応じて受信する授業の補助者を配置し、授業の双方向性を確保する措置を講ずるものとする。当該措置にかかる経費については、受信大学において負担するものとする。

3. 配信大学の授業担当教員は、授業の内容・形態、配信大学における受講生数等を考慮し、予め遠隔講義システムを活用して受講する学生数（以下「受信学生総数」という）を設定することが出来る。

4. 配信大学の授業担当教員には、受信学生総数に応じた授業支援経費を支給する。支給額については、当分の間は、1 授業科目当たり 5 万円とする。経費の財源については、戦略的大学連携支援事業の継続する間は、同補助金より支出するものとする。

5. 配信する授業科目は、各大学において原則として授業実施の前年度の 12 月末日までに決定した上、高等

教育コンソーシアム信州事務局(以下「事務局」という。)がとりまとめ、各大学へ公表する。1月末日までに各科目のシラバスを事務局へ提出し、事務局が取りまとめた上、各大学に公表するものとする。

6. 遠隔講義システムを活用した授業を受講できる者は、各大学に在学する学部学生又は大学院学生とし、科目等履修生、研究生及び委託生等を除くものとする。

7. 遠隔講義システムを活用した授業を受講する場合の履修登録に関する手続きは、次のとおりとする。

一. 受講希望学生は、所属大学にて所定の期日までに

受講登録を行う。

二. 受信大学は、各大学における受講者一覧を作成の上、事務局に報告する。

三. 事務局は、受信学生総数を確認の上、配信大学及び受信大学に連絡する。受講制限を行う必要が生じた場合は、配信大学及び受信大学間の連絡調整を行う。

8. 遠隔講義システムを活用した授業を受講する場合の成績にかかる事務処理については、コンソーシアム事務局が配信大学授業担当教員と受信大学間の連絡を行うものとする。

9. 本申合せの改廃については運営会議の協議により行う。

2 eChes（イーチェス）の利用方法

eChes（E-learning for the Consortium of Higher Education in Shinshu）は、「高等教育コンソーシアム信州」専用の LMS（Learning Management System：学習管理システム）です。eChes では、インターネットを介した講義資料の取得、課題レポートの提出、受講生同士の意見交換や講師への質疑応答などを行うことができます。

eChes の操作方法是、eChes トップページに用意された簡易マニュアル、あるいはヘルプ&サポートページ（<http://ealps2.shinshu-u.ac.jp/support/>）を参照してください。ここでは、eChes へのアクセス及びログイン方法について解説します。

2.0 準備するもの

- ・ ユーザ名
- ・ パスワード

- ※ ユーザ名及びパスワードをもらっていない場合には、自分の所属大学の担当事務局にお問い合わせください。
- ※ パスワードを紛失した場合には、再発効までに 1 日以上かかります。パスワードは紛失しないようにきちんと管理してください。
- ※ パスワードが盗難され、悪用されるケースが多発しています。ユーザの過失によるトラブルは管理者側では責任を負いかねますので、パスワードの保管方法などには十分に注意してください。

2.1 eChes にアクセスする

- (1) インターネットブラウザ（Internet Explorer, Safari, FireFox など）を開き、次の URL にアクセスします（図 2-1）。

「高等教育コンソーシアム信州」公式 Web サイト：<http://www.c-snet.jp/>

- (2) 「高等教育コンソーシアム信州」公式 Web サイトのトップページ（図 2-2）が表示されます。
トップページ右上の[eChes]アイコンをクリックします。

- (3) eChes のトップページ（図 2-3）が表示されます。

2.2 eChes にログインする

- (1) eChes のトップページ右上にある[ログイン]をクリックします（図 2-3）。
- (2) ユーザ名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします（図 2-4）。
- (3) 画面右上に「あなたは〇〇〇〇としてログインしています」と表示されます（図 2-5）。これで正常に eChes へのログインができました。

2.3 困ったときは…

- ・ ユーザ名、パスワードに関する問い合わせ ⇒自分の所属大学の担当事務局
- ・ eChes に関する問い合わせ
⇒「高等教育コンソーシアム信州」事務局 eChes 管理・運用係
Mail. campus-eches@shinshu-u.ac.jp
Tel. 0263-37-2956（信州大学内内線 811-7274）

注意：システムの改善などにより、次頁で示す eChes 画面例が実際のものと異なる場合があります。あらかじめご了承ください。



図 2-1 ブラウザ画面 (例. Internet Explorer 8.0)



図 2-2 「高等教育コンソーシアム信州」公式 Web サイトトップページ



図 2-3 eChes トップページ

アカウントをお持ちの方ですか？

ユーザ名とパスワードを入力してください
(ブラウザのクッキー設定を有効にしてください。)?

ユーザ名

パスワード

いくつかのコースはゲストで利用できます

ユーザ名またはパスワードを忘れましたか？

図 2-4 ログイン画面

ユーザ名、パスワードを入力し、
[ログイン]をクリックする。

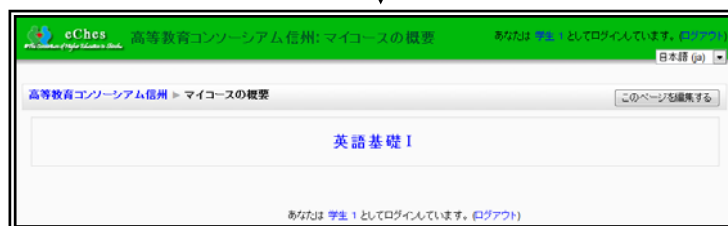


図 2-5 ログインできました

3 受講の手続について

学生の皆さんが、この冊子で紹介する授業を受講するためには、次の手続を行ってください。

各大学の受講申し込み先並びに遠隔授業窓口一覧

所 属 大 学 名 (学部・キャンパス)		担当窓口	遠隔授業登録期限		受 講 登 録 方 法
			前 期	後 期	
信 州 大 学	松本キャンパス	共通教育窓口	4 月 22 日※1	10 月 18 日※2	信州大学キャンパス情報システムにより登録 (遠隔授業は、受講票の提出は必要ありません)
	教 育 学 部	学務係			
	工 学 部	学務グループ			
	農 学 部	学務グループ			
	繊 維 学 部	教務係			
長野県看護大学		教務課	4 月 20 日	10 月 1 日	単位互換(遠隔授業用)受講票に記入の上、教務課へ提出
佐 久 大 学		学事課	4 月 16 日	10 月 1 日	単位互換(遠隔授業用)受講票に記入の上、学事課へ提出
清泉女学院大学		学生支援課	4 月 20 日	10 月 1 日	単位互換(遠隔授業用)受講票に記入の上、学生支援課へ提出
諏訪東京理科大学		事務部(2号館事務部室)	4 月 15 日	10 月 4 日	単位互換(遠隔授業用)受講票に記入の上、事務部(2号館事務部室)へ提出
長 野 大 学		教育支援課	4 月 16 日	9 月 30 日	単位互換(遠隔授業用)受講票に記入の上、教育支援課へ提出
松 本 歯 科 大 学		学事課	4 月 16 日	10 月 1 日	単位互換(遠隔授業用)受講票に記入の上、学事課へ提出
松 本 大 学		教務課	4 月 14 日	10 月 1 日	単位互換(遠隔授業用)受講票に記入の上、教務課へ提出

※1※2 信州大学1年次生（医学部医学科2年生含む）対象の期間を表します。信州大学高年次生は、各学部が定める履修登録期間を原則とし、履修登録最終日が上記期日以降の場合は、上記期目とします。

①受講手続き

学生が所属する大学の窓口に、単位互換（遠隔授業用）受講登録票（下図参照）を所定の期日までに提出してください。なお、大学によっては、本冊子で紹介する授業を通常の受講登録と一緒に
行う大学もありますので注意して
ください。

平成 年 月 日

②受講制限

本冊子で紹介する授業は、遠隔の参加学生数に定員を設けているものがあります。各授業のシラバスの「遠隔授業受講学生定員」欄に記載される定員を越えた場合は、全大学の受講手続終了後に抽選により受講学生を決定いたします。受講の可否については、抽選後に各大学担当窓口を通じて連絡します。

③教育支援システム（eChes）の利用

遠隔授業で用いる教育支援システムは、受講登録手続き処理後にコンソーシアム事務局において利用者登録処理が完了して、初めて利用が可能となります。登録処理完了後に「eChes」への接続するための「ログイン ID」並びに「パスワード」を、各大学の担当窓口を通じて付与します。なお、利用者登録処理が完了するまでの間は、ゲストでの利用が出来ます。

④受講の取り消し

受講登録後に受講を取りやめる場合は、速やかに各大学の担当窓口に申し出てください。

[illegible]

4 遠隔授業時間割一覧

《前期》

	発信大学名	教員名	時 間	科 目 名	初回授業日	発信大学名	教員名	時 間	科 目 名	初回授業日
月	清泉女学院大学	田村亮子	1 限 (9:00-10:30)	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語)	平成 22 年 4 月 12 日	信州大学	松岡幸司	5 限 (16:20-17:50)	ドイツ語 (初級) Ⅰ	平成 22 年 4 月 12 日
火	松本歯科大学	増田裕次・ 田中忠芳	2 限 (10:40-12:10)	基礎自然科学(数理系)Ⅰ	平成 22 年 4 月 13 日	松本大学	眞次宏典	3 限 (13:30-15:00)	日本国憲法	平成 22 年 4 月 13 日
水	佐久大学	竹尾恵子	2 限 (10:40-12:10)	看護基礎理論	平成 22 年 4 月 14 日	信州大学	矢部正之	5 限 (16:20-17:50)	物理学の世界	平成 22 年 4 月 14 日
木	清泉女学院大学	田村亮子	1 限 (9:00-10:30)	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語)	平成 22 年 4 月 8 日	信州大学	加藤欽三・ 加藤善子	5 限 (16:20-17:50)	社会の中の個人として 生きる	平成 22 年 4 月 15 日
		眞榮城和美	2 限 (10:40-12:10)	発達・学校臨床の実際	平成 22 年 4 月 8 日					
金	長野県看護大学	宮越幸代	2 限 (10:40-12:10)	国際看護学	平成 22 年 4 月 16 日	信州大学	加藤欽三	5 限 (16:20-17:50)	大学院生向け英作文 (※単位なし)	平成 22 年 4 月 9 日

《前期 完全 e-Learning 科目》 ※全ての授業を e-Learning で行いますので曜日時間の指定はありません。

発信大学名	教員名	科 目 名
信州大学	鈴木治郎	電子出版と社会

《後期》

	発信大学名	教員名	時 間	科 目 名	初回授業日	発信大学名	教員名	時 間	科 目 名	初回授業日
月	信州大学	小山花子	2 限 (10:40-12:10)	哲学と政治	平成 22 年 10 月 4 日	信州大学	松岡幸司	5 限 (16:20-17:50)	ドイツ語 (初級) Ⅱ	平成 22 年 10 月 4 日
火	信州大学	小山花子	1 限 (9:00-10:30)	民主主義について	平成 22 年 10 月 5 日	松本大学	眞次宏典	3 限 (13:30-15:00)	社会学	平成 22 年 9 月 28 日
水	諏訪大学	清水俊治	1 限 (9:00-10:30)	医用生体工学	平成 22 年 9 月 22 日	諏訪大学	天野輝芳	3 限 (13:00-14:30)	環境マネジメント	平成 22 年 9 月 22 日
		専攻全教員	2 限 (10:40-12:10)	機械システム工学通論	平成 22 年 9 月 22 日					
木	長野大学	高橋大輔	1 限 (8:50-10:20)	生態学B	平成 22 年 9 月 30 日	長野大学	宋 岩	3 限 (12:50-14:20)	現代中国事情	平成 22 年 9 月 30 日
金	信州大学	加藤欽三・ 加藤善子	2 限 (10:40-12:10)	新聞と私たちの社会 (信 濃毎日新聞寄附講義)	平成 22 年 10 月 1 日	信州大学	加藤欽三	5 限 (16:20-17:50)	大学院生向け英作文 (※単位なし)	平成 22 年 10 月 1 日

5 遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧

学期	曜日	時 限 (時間)	大学名（教員名）	科 目 名	信州大学		
					松本C	長野(教)C	長野(工)C
前期	月	1限 (9:00-10:30)	清泉女学院大学(田村亮子)	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語)	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
		5限 (16:20-17:50)	信州大学(松岡幸司)	ドイツ語(初級)Ⅰ	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
	火	2限 (10:40-12:10)	松本歯科大学(増田裕次・田中忠芳)	基礎自然科学(数理系)Ⅰ	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
		3限 (13:30-15:00)	松本大学(眞次宏典)	日本国憲法	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
	水	2限 (10:40-12:10)	佐久大学(竹尾恵子)	看護基礎理論	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
		5限 (16:20-17:50)	信州大学(矢部正之)	物理学の世界	全学教育機構 61番講義室	実践センター 遠隔講義室	工学部 講義棟200番
	木	1限 (9:00-10:30)	清泉女学院大学(田村亮子)	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語)	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
		2限 (10:40-12:10)	清泉女学院大学(眞榮城和美)	発達・学校臨床の実際	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
		5限 (16:20-17:50)	信州大学(加藤鉦三・加藤善子)	社会の中の個人として生きる	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	工学部 講義棟103番
	金	2限 (10:40-12:10)	長野県看護大学(宮越幸代)	国際看護学	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
		5限 (16:20-17:50)	信州大学(加藤鉦三)	大学院生向け英作文	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
	月	2限 (10:40-12:10)	信州大学(小山花子)	哲学と政治	全学教育機構 61番講義室	実践センター 遠隔講義室	
		5限 (16:20-17:50)	信州大学(松岡幸司)	ドイツ語(初級)Ⅱ	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
後期	火	1限 (9:00-10:30)	信州大学(小山花子)	民主主義について	全学教育機構 61番講義室	実践センター 遠隔講義室	工学部 講義棟103番
		3限 (13:30-15:00)	松本大学(眞次宏典)	社会学	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
	水	1限 (9:00-10:30)	諏訪東京理科大学(清水俊治)	医用生体工学	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
		2限 (10:40-12:10)	諏訪東京理科大学(専攻全教員)	機械システム工学通論	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
		3限 (13:00-14:30)	諏訪東京理科大学(天野輝芳)	環境マネジメント	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	
	木	1限 (8:50-10:20)	長野大学(高橋大輔)	生態学B	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	工学部 講義棟103番
		3限 (12:50-14:20)	長野大学(宋 岩)	現代中国事情	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	工学部 講義棟200番
	金	2限 (10:40-12:10)	信州大学(加藤鉦三・加藤善子)	新聞と私たちの社会(信濃毎日新聞 寄附講義)	全学教育機構 61番講義室	実践センター 遠隔講義室	工学部 講義棟200番
		5限 (16:20-17:50)	信州大学(加藤鉦三)	大学院生向け英作文	全学教育機構 211番演習室	実践センター 遠隔講義室	

※網掛けの教室は、授業配信を行う教室を表す。

信州大学		長野県看護大学	佐久大学	諏訪東京理科大学	清泉女学院大学	長野大学	松本歯科大学	松本大学
南箕輪C	上田C							
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F206教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 30番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室	繊維学部 32番講義室	中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F206教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F206教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F206教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F206教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室	繊維学部 32番講義室	中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F206教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F203教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室	繊維学部 32番講義室	中講義室4	4103講義室	432教室	F206教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室
農学部 12番講義室		中講義室4	4103講義室	432教室	F206教室	4-302教室	講義館 203号室	524教室

6 シラバス

《前期》

授 業 名	英語基礎 II (たてなおしの英語) Part 2/2 [*「英語基礎 I」との連続授業]
開 講 期 間	前期 (春学期)
曜 日	月曜日
メイン教室 (対面教室)	清泉女学院大学 F206 教室
開 講 時 間	9:00~10:30
ワグ教室 (遠隔受講教室)	遠隔授業受講教室 (配信・受信) 一覧 (10, 11 ページ) 参照
遠隔授業受講学生定員	20 名
単 位 数	2 単位
教 員 氏 名	田村亮子 (清泉女学院大学人間学部心理コミュニケーション学科)
教 員 連 絡 先	TEL 026-295-1363 メールアドレス ryokotam@seisen-jc.ac.jp
授 業 の ね ら い	○ 認識論 (知性の仕組みについての理解) に基づいて英語の基礎理解を再構築する授業である。英文法の基礎理解が不十分なまま中学・高校をすごしたために、英語の文章を正確に読み書きすることに困難を覚えている学生、又、自分では英語力があると自負していながら、一定のレベル以上に前進できない現実に直面してその理由がわからずに足踏みをしている学生を対象とし、英語の仕組みについての「断片的」ではなく、「統合された」理解を、文字通り、ゼロから「たてなおし」、英語検定 2 級レベル以上の英語文献読解、英作文を可能とすることを目標とした訓練を行う。 ○ 音読とリスニングを強化するために不可欠な、英語の発音の仕組みの理解、発音記号の読み方も取り扱う。 ○ また、英語の学力のたてなおしを通じて、英語等の「苦手」科目がもたらす自信喪失状態から学生が自尊意識と自らの「学ぶ力」についての自信を回復するきっかけをつかむことができるよう援助することを目指す。
授 業 の 概 要	<★「履修上の注意」をまず読んでください。> ○受講者は受講に先立って、英作文の実力試験を行う。(メイン教室[清泉女学院大学]では、4月2日(金)、遠隔授業受講者は、eChes 上において行う。) ○授業は、 (1) まず、「英語ができるってどういうこと?」と題した Introduction を通じて、これまでの自分の英語学習が適切なものであったのか、英語理解の前進を阻んでいる理由が何であったのかについての説明を試みる。そして、参加者個々人が、英語学習の全体像の中の自分の立ち位置を確認した上で、英語基礎の再構築の作業を進める。 (2) 毎回の授業は講義形式であるが、受動的に講義を聴くだけでは内容の理解の安定した定着を図るという目的を果たすことはできない。従って、講義内容の理解に 50%、講義を反映した練習問題の宿題の消化 (自主学習) を 50%と考えて、時間とエネルギーの時間配分を予定してほしい。 (3) この授業の英語の文法項目の取り扱い方には以下の特徴がある。 ①文法は、「暗記する」ものではなく、「理解する」ものである、という基本原則に基づいて、理解すべき仕組みが「簡単な」項目から「難しい」項目へと、できるかぎり躓かずに進むことができる道筋で説明を進める。 ②各文法項目を単独で取り扱うのではなく、積み木を積み上げるように、既習の文法項目の上に、新しい項目を重ねて比較、区別して理解を進めることで、ジグソーパズルを完成するように、文法の全体像を把握することができるようにする。 (4) Listening の力は、文章の正確な音読能力と比例している。この授業では、英語の発音の仕組みの理解と発音記号の読み方、等もあわせて指導する。

授 業 の 計 画 ＜授業計画は、「英語基礎 I」とあわせて一つの計画となっているので、そちらとあわせて参照のこと。[] 内の番号が授業回数と順番を示している。＞	4 月 12 日 (月)	＜★ [1]の授業は、「英語基礎 I」4 月 8 日 (木)＞
	4 月 19 日 (月)	[2] 英文の基本構造／冠詞／第 1,2,3 文型／3 単元の s と複数形 (次回→「英語基礎 I」4/15)
	4 月 26 日 (月)	[4] 形容詞／副詞 (次回→「英語基礎 I」4/22)
	5 月 10 日 (月)	[6] Be 動詞の第 1 文型／There is 構文 (次回→「英語基礎 I」5/6)
	5 月 17 日 (月)	[8] 名詞節／副詞節(次回→「英語基礎 I」5/13)
	5 月 24 日 (月)	[10] 形式主語① (次回→「英語基礎 I」5/20)
	5 月 31 日 (月)	[12] 形容詞節②：関係副詞・関係形容詞 (次回→「英語基礎 I」5/27)
	6 月 7 日 (月)	[14] 3 つの節の区別／命令文 (次回→「英語基礎 I」6/3)
	6 月 14 日 (月)	[16] 形式主語②／意味上の主語／疑問詞で始まる不定詞 (次回→「英語基礎 I」6/10)
	6 月 21 日 (月)	[18] 不定詞(形容詞用法) (次回→「英語基礎 I」6/17)
	6 月 28 日 (月)	[20] 受動態 (次回→「英語基礎 I」6/24)
	7 月 5 日 (月)	[22] 進行形／現在分詞の形容詞用法 (次回→「英語基礎 I」7/1)
	7 月 12 日 (月)	[24] 第 5 文型 (再)／日本語の受益態 (次回→「英語基礎 I」7/8)
	7 月 19 日 (月・祝) ※月曜授業	[26] 強調構文／形式主語との区別 (次回→「英語基礎 I」7/15)
	7 月 26 日 (月)	[28] 完了形 (次回→「英語基礎 I」7/22)
		[30] 仮定法 ②
成 績 評 価 の 方 法	■メイン教室 ①毎回の Short Quiz 80 点 ②予習・復習ノートチェック 20 点 ■遠隔授業教室 ① eChes による宿題と Short Quiz 100 点	
遠隔授業に関する注意	■リアルタイム授業を原則とするが、週 2 回の授業のため、参加者のスケジュールに合わせて、講義の録画を使用しての受講が可能である。	
履 修 上 の 注 意	■「英語基礎 II (月曜日)」、「英語基礎 I (木曜日)」は「英語基礎 (たてなおしの英語)」という <u>同一科目の連続授業</u> であり、週に 2 回 (月曜日と木曜日)、一学期間で合計 30 回の授業を行う。従って、「英語基礎 I」だけ、「英語基礎 II」だけを <u>単独で履修することはできない</u> 。 ■「英語基礎 I,II」の第 1 回目の授業は 4 月 8 日 (木) である。 ■毎回の宿題を消化するために、各回の授業に対して、1 時間～2 時間の勉強時間を確保すること	
質 問 , 相 談 へ の 対 応	■eChes 上のメールで対応する。受け取った質問については、個人的な問題以外は、できる限り次の回の授業において回答する。	
教 科 書	オリジナルテキスト, と Power Point の Hand-Out (それぞれ eChes にて配布)	
参 考 書	■英語の辞書は、手持ちのものでよいが、授業中に説明する基準に合致しない辞書を所有している場合で、新規購入する場合は『サンライズ・クエスト英和辞典』(旺文社)をすすめる。 ■文法参考書は手持ちのものでよいが、持っていない場合には『ロイヤル英文法』(旺文社)＜1,800 円＞又は『チャート式 新総合英語』(数研出版)＜1,440 円＞をすすめる。	

授 業 名	ドイツ語（初級）Ⅰ
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	月曜日
メイン教室（対面教室）	信州大学共通教育211番演習室
開 講 時 間	16:20～17:50
カブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	20名程度
単 位 数	1単位
教 員 氏 名	松岡 幸司（信州大学）
教 員 連 絡 先	メールアドレス maulwurf@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	到達目標： ドイツ語の基本事項を学びつつ、その背景である文化・思想・地誌についても概観し、ドイツとドイツ語を通して異文化に触れつつ、グローバルな感覚を養うことをねらいとする。言語の基本は「音」であるので、発音も重視しつつ、使えるドイツ語の基礎を習得してもらいたい。夏休み中も自主学習を続けることで、独検4級の秋期試験に合格する程度のドイツ語力をつけることも目標の一つである。 学ぶべきこと： 1. ドイツ語の基本的な構造 2. ドイツ語の発音 3. 言語と媒介としたグローバル感覚
授 業 の 概 要	ドイツ語の構造について： 「学習」した個々の項目を自由自在に組み合わせて、読み・書き・話し・聞くことができるようになるのが目標である。そのためには、授業で扱った内容を次の授業までにしっかりと復習し、疑問点を明確にし、定着させて進んでいかなければならない。 発音について： ドイツ語の発音の出発点は「ローマ字読み」である。その例外となる発音に着目して習得を目指してほしい。そのためには、目で読むだけではなく、常に音読して、ドイツ語のリズムを共に身につけていく必要がある。 授業の全体像： 最初の数回の授業で発音の基礎を学習するが、その後も引き続いてチェックを行う。数詞の暗唱や短い文章の朗読といった口頭テストも行う。 基本的に1課終了ごとに小テストを行うことで、自己評価（チェック）に役立ててもらおう。その他に、中テスト・期末試験、発音チェックの口頭試験を行う。

授 業 の 計 画	4 月 12 日 (月)	導入：アルファベット，発音の基礎，基礎的な表現
	4 月 19 日 (月)	
	4 月 26 日 (月)	Szene 1 : Lektion 1～3／動詞の現在人称変化
	5 月 7 日 (金) ※振替授業日	
	5 月 10 日 (月)	
	5 月 17 日 (月)	
	5 月 24 日 (月)	中テスト，まとめと復習
	5 月 31 日 (月)	Szene 2 : Lektion 4～7／名詞や冠詞の格変化，前置詞の基礎
	6 月 7 日 (月)	
	6 月 14 日 (月)	
	6 月 21 日 (月)	
	6 月 28 日 (月)	中テスト，まとめと復習
	7 月 5 日 (月)	
	7 月 12 日 (月)	Szene 3(1) : Lektion 8／不規則動詞と zu 不定詞
	7 月 26 日 (月)	期末試験
成 績 評 価 の 方 法	既習事項の習得度を下記のような方法で確認し，評価する。 平常点 30 点：小テスト，口頭テストの得点率を 30 点満点に換算する。 試験 70 点：中テスト (30 点)，期末試験 (40 点) のように換算する。	
遠隔授業に関する注意	信州大学松本キャンパス以外の受講生は，画面を通してでも積極的に参加してください。授業内容については，「eChes」上にアップします。予習復習に役立ててください。	
履 修 上 の 注 意	・予習よりも復習に重点をおく！ ・毎回の授業の後には必ず復習を行い，自分の理解度を確認すること。「復習」というのは「理解できた部分とできなかった部分をはっきりさせる」ために行うものである。 ・授業内でも授業外でも，音読の練習を際限なく繰り返すこと。 ・理解度・習得度の低かった事柄については，次回の授業，メール，オフィスアワーなどを活用して，必ずしっかりと確認すること。 ・辞書は必携。最初の授業で「独和辞典の紹介」を行う。 ☆この授業は「遠隔授業」であり，高等教育コンソーシアム信州加盟各大学での受講が可能。他の大学の人と交流しながらドイツ語を身につけよう！ ☆映像の向こうの授業であっても，積極的な発言を期待している！	
質 問 ， 相 談 へ の 対 応	オフィスアワー：初回授業で伝える。 研究室の場所：信州大学全学教育機構南棟 3 階の北側 メールアドレス：maulwurf@shinshu-u.ac.jp	
教 科 書	近藤/小林/新倉/松尾：Dialog ベーシック版＜新版＞ 郁文堂 ￥2,400-	
参 考 書	清野智昭：ドイツ語のしくみ。白水社。¥1,470-	

授 業 名	基礎自然科学（数理系）Ⅰ																										
開 講 期 間	前期（春学期）																										
曜 日	火曜日																										
メイン教室（対面教室）	松本歯科大学講義館203教室																										
開 講 時 間	10:40～12:10																										
サテライト教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11ページ）参照																										
遠隔授業受講学生定員	10名																										
単 位 数	1単位																										
教 員 氏 名	田中 忠芳（松本歯科大学歯学部），増田 裕次（松本歯科大学大学院）																										
教 員 連 絡 先	TEL 0263-51-2081, Email : tadatanaka@po.mdu.ac.jp																										
授 業 の ね ら い	【一般目標】数理的物理的能力および現象観察力に裏付けられた，論理的思考力，理解力，洞察力を身につける。また，これらを通じて「学ぶ姿勢」，「学ぶ力」を身につける。 【行動目標】現象を観察し，その特徴を定性的かつ定量的に把握することにより，現象の背景にある規則性・法則性に気づくことができる。さらに，その上で必要に応じて規則性・法則性の数理的記述ができ，それらをもとに演繹的に考察できる。また，自分を学ぶ場面におき，着実に学びを進めることができる。 【教育（学習）方略】現象を観察し，その特徴を定性的かつ定量的に把握する上で必要な支援を受け，現象の背景にある規則性・法則性に気づくようになる。さらに，必要に応じて規則性・法則性の数理的記述の方法を学び，それらをもとに演繹的に考察できるように支援を受ける。また，着実に学びを進めるために，継続的に自分自身を学びの場面に置く。																										
授 業 の 概 要	一般に，「現象の背景にある規則性・法則性」を探究する学問は物理学である。太古の昔から，人類は自然を観察し，その規則性に気づき，それに則って生活をしてきた。今日，身のまわりにあるもので，物理学に基づいてそれを応用していないものを探すのは難しい。実は，自然界の規則性の観察から今日の物理学に至るまでには，大きな転換点があった。17世紀のことである。人類は数学を当時の自然学に持ち込むことに成功した。その後，自然は数学の言葉を使って表現されるようになり，物理学としての体系が構築されるのである。18世紀から19世紀にかけての産業革命以降，物理学の応用的側面は，工学として発展し，人々の生活をつくりかえていくのに大きく貢献する。現象の数理的側面を探究することは，その現象の本質を見抜く上で，とても重要である。物理学は，数学無しにはここまで発展し得なかったし，私たちの生活も，いまとは違ったであろう。 本授業では，現象の背景にある規則性・法則性を理解し，論理的思考力，理解力，洞察力を身につけることを目的として講義を展開する。教科書として，原康夫著「増補版 物理学入門」を採用し，この第0章から第6章まで（表を参照）を，実際の現象の観察や数学などの周辺知識も交えながら，丁寧に解説する。 受講生は，大学入学までに物理的分野を十分に履修していない学生を想定している。最初は，論理的思考力，理解力，洞察力を身につけることが難しく感じられるかもしれないが，興味と関心を持って現象や事象を注意深く観察するところから始まるので，好奇心をもって，臨んでほしい。かつて，先人たちがそうであったように。 表 原康夫著「増補版 物理学入門」目次 <table border="1"> <tr><td>第0章</td><td>はじめに</td></tr> <tr><td>第1章</td><td>運動</td></tr> <tr><td>第2章</td><td>力と運動</td></tr> <tr><td>第3章</td><td>仕事とエネルギー</td></tr> <tr><td>第4章</td><td>周期運動</td></tr> <tr><td>第5章</td><td>連続体の力学</td></tr> <tr><td>第6章</td><td>波動</td></tr> <tr><td>第7章</td><td>熱と温度</td></tr> <tr><td>第8章</td><td>電荷と電流</td></tr> <tr><td>第9章</td><td>電磁気学</td></tr> <tr><td>第10章</td><td>光と電磁波</td></tr> <tr><td>第11章</td><td>原子物理学</td></tr> <tr><td>第12章</td><td>原子核</td></tr> </table>	第0章	はじめに	第1章	運動	第2章	力と運動	第3章	仕事とエネルギー	第4章	周期運動	第5章	連続体の力学	第6章	波動	第7章	熱と温度	第8章	電荷と電流	第9章	電磁気学	第10章	光と電磁波	第11章	原子物理学	第12章	原子核
第0章	はじめに																										
第1章	運動																										
第2章	力と運動																										
第3章	仕事とエネルギー																										
第4章	周期運動																										
第5章	連続体の力学																										
第6章	波動																										
第7章	熱と温度																										
第8章	電荷と電流																										
第9章	電磁気学																										
第10章	光と電磁波																										
第11章	原子物理学																										
第12章	原子核																										

授 業 の 計 画	4 月 13 日 (火)	数や量の表し方, 国際単位系 (SI) 「増補版 物理学入門」 pp.2-7
	4 月 20 日 (火)	運動の記述 (位置・速度・加速度, 等速直線運動, 等加速度運動, 重力加速度)「増補版 物理学入門」 pp.8-28
	4 月 27 日 (火)	力の記述 (三角比, 力, 力の合成と分解, 力のつり合い, 作用と反作用)「増補版 物理学入門」 pp.38-43
	5 月 11 日 (火)	力のつり合い (作用線方向の力のつり合い, 静止摩擦力, 動摩擦力, 斜面上に静止する物体にはたらく力のつり合い, 斜面上を運動する物体にはたらく力のつり合い, 力のモーメント, 力のモーメントのつり合い)「増補版 物理学入門」 pp.46-50
	5 月 18 日 (火)	運動の法則 (力と加速度, 質量と加速度, 慣性質量と重力質量, Newton の運動の3法則(慣性の法則, 運動の法則, 作用反作用の法則))「増補版 物理学入門」 pp.32-46
	5 月 25 日 (火)	力積と運動量 (衝突における作用・反作用, 力積と運動量, 運動量保存の法則, 反発係数(跳ね返り係数))「増補版 物理学入門」 pp.35-37
	6 月 1 日 (火)	仕事とエネルギー (仕事, 仕事率, 力学的エネルギーとエネルギー原理, 重力による位置エネルギーと運動エネルギー, 保存力と力学的エネルギー保存の法則, 摩擦がする仕事, 仕事と熱)「増補版 物理学入門」 pp.56-66
	6 月 8 日 (火)	回転運動 (三角関数, 等速円運動, 向心力と遠心力)「増補版 物理学入門」 pp.68-78
	6 月 15 日 (火)	単振動と正弦波 (単振動, 復元力と単振動の周期, 単振動のエネルギー, 正弦波, 波の種類)「増補版 物理学入門」 pp.78-86, 110-114
	6 月 22 日 (火)	波の性質 (波の重ね合わせ, 定常波, うなり, ドップラー効果, 波の回折・反射・屈折)「増補版 物理学入門」 pp.110-122
	6 月 29 日 (火)	静止流体の力学 (圧力, 気体の圧力, 大気圧, 液体の圧力, 水圧, パスカルの原理, 浮力とアルキメデスの原理)「増補版 物理学入門」 pp.90-97
	7 月 6 日 (火)	運動流体の力学 (完全流体, 定常流, ベルヌーイの法則, 粘性力, 粘性抵抗と慣性抵抗, 層流と乱流, 力学的相似則とレイノルズ数)「増補版 物理学入門」 pp.100-106
	7 月 13 日 (火)	弾性体 (弾性と塑性, フックの法則と弾性力による位置エネルギー, ひずみと応力, 弾性率)「増補版 物理学入門」 pp.97-100
成 績 評 価 の 方 法	履修内容の確認のために行う WeeklyTest および定期試験の得点 (WeeklyTest : 20%, 定期試験 : 80%), 学ぶ姿勢などをもとに, 総合的に評価する。	
遠隔授業に関する注意	受信側の大学の都合等で受講できない講義がある場合, 配信 V T R を学生各自が受講することにより, 受講とみなす。	
履 修 上 の 注 意	事前に, 各授業で扱う内容を, 原 康夫 著:「増補版 物理学入門」(学術図書出版社)で確認しておくことをすすめる。また, 授業後, 分かりにくい箇所や, より詳しく知りたい事項については, 授業担当者へ問い合わせして下さい。	
質問, 相談への対応	「eChes」上のメールで対応する。	
教 科 書	原 康夫 著:「増補版 物理学入門」(学術図書出版社) <本体 2,000 円>	
参 考 書	必要に応じて授業の中で紹介する。	

授 業 名	日本国憲法
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	火曜日
メイン教室（対面教室）	松本大学524教室
開 講 時 間	13:30～15:00
カブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	30名
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	眞次 宏典（松本大学）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-48-7200（代） メールアドレス hironori.matsugu@matsu.ac.jp
授 業 の ね ら い	本講義は、日本国憲法についての基本的な知識を獲得することを目的としています。日本国憲法を近代立憲主義の歴史の中に位置づけた上で、日本における憲法学説・判例を手がかりにしながら、日本国憲法の人権および統治機構（政府の仕組み）の基本的なあり方を明らかにしていきます。そのような作業を踏まえた上で、日本国憲法についての理解を深めていくことを講義のねらいとしています。 なお、本講義は1年生配当の科目であることから、大学生としての学びをスタートしたばかりの学生を想定して、ノートの取り方、定期試験準備の仕方、記述式試験問題の答案の書き方、六法の使い方などについての指導も行います。
授 業 の 概 要	この講義は、松本大学での講義を配信し、それを受講生が各大学の施設内で受講するという形態をとります。教室内では講義時間中に教員と学生の双方向的コミュニケーションを取るように心がけていますが、遠隔授業ではそれができないので、代わりにメールなどの形で質問を受け付けます。講義内容についての質問、感想などを担当教員に対して送ってくれることを望みます。 講義は、六法（毎時間必携である）で条文（憲法および関連諸法令）を参照しながら進めていきます。なお、ほぼ毎時間、講義テーマまたは人権、憲法に関連した新聞・雑誌などの記事を配布し、解説を加えることにします。講義で得た知識をたんなる机の上での「お勉強」に終わらせないためです。

授 業 の 計 画	4 月 13 日 (火)	ガイダンス
	4 月 20 日 (火)	近代憲法の成立と構成
	4 月 27 日 (火)	日本国憲法と平和主義
	5 月 11 日 (火)	基本的人権 (1) : 個人の尊重と幸福追求権
	5 月 18 日 (火)	基本的人権 (2) : 法の下での平等その 1
	5 月 25 日 (火)	基本的人権 (3) : 法の下での平等その 2
	6 月 1 日 (火)	基本的人権 (4) : 表現の自由と知る権利
	6 月 8 日 (火)	基本的人権 (5) : 表現の自由とプライバシーの権利
	6 月 15 日 (火)	基本的人権 (6) : 社会権
	6 月 22 日 (火)	統治機構 (1) : 国民主権と政府のしくみ
	6 月 29 日 (火)	統治機構 (2) : 国会
	7 月 6 日 (火)	統治機構 (3) : 内閣
	7 月 13 日 (火)	統治機構 (4) : 裁判所
	7 月 20 日 (火)	統治機構 (5) : 違憲審査制
	7 月 27 日 (火)	まとめ
成 績 評 価 の 方 法	中間試験またはレポートなど平常点 30%, 期末試験 70%で評価します。	
遠隔授業に関する注意	基本的にリアルタイム授業を配信する。遠隔授業の場合は、各大学、キャンパスごとの時間割とずれが発生するが、開講時までにスケジュールを確認して周知するので、すべての大学・キャンパスの受講生は授業を行う日にはできるだけ出席するようにしてください。	
履 修 上 の 注 意	六法は各自用意してください。できれば松本大学の講義で指定している『デイリー六法 2010 年版』(三省堂)が望ましいが、既に所有している六法があれば(ここ 2, 3 年発行のものであれば)それでも可とします。また、授業時間外には予習よりも復習を求めます。講義で取り扱った事項について指定教科書、下記の参考書、およびその他の書物、新聞、インターネットなどで各自理解を深めるよう心がけてください。	
質 問 , 相 談 へ の 対 応	メール(hironori.matsugu@matsu.ac.jp)にて対応するが、連絡があれば研究室での指導も行う。	
教 科 書	初宿正典・大沢秀介ほか『目で見える憲法(第3版)』有斐閣, 2007。<1,680 円>	
参 考 書	伊藤正巳『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣, 2008。<1,680 円> 戸松秀典『プレップ憲法(第3版)』弘文堂, 2007。<1,470 円> 芦部信喜『憲法(第4版補訂版)』岩波書店, 3,150。<3,150 円>	

授 業 名	看護基礎理論
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	水曜日
メイン教室（対面教室）	佐久大学4103講義室
開 講 時 間	10:40～12:10
サテライト教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	10名
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	竹尾 恵子（佐久大学看護学部看護学科）
教 員 連 絡 先	TEL 0267-68-6680 メールアドレス k-takeo@saku.ac.jp
授 業 の ね ら い	看護の科学を支える理論的基盤として、人間、健康、看護の捉え方・考え方を講述する。また、健康と保健行動、環境や文化と健康との関わり、国際的看護活動などの理解を通じて、看護が果たすべき機能と役割について広い視野の基で考えることができるようにする。さらには看護の歴史や看護活動に関わる倫理的課題に自ら取り組み、いろいろの視点や考え方を調べ、問題解決型（PBL）の学習態度を養う。
授 業 の 概 要	以下の項目について講義，グループワークを通じて，理解を深める。 1. 健康とはなにか 2. 健康と環境とのかかわり 3. 健康の文化社会的側面 4. 保健行動について 5. 看護理論とその意義 6. 国際看護活動と異文化理解 7. 外国の看護活動と保健状況について 8. 日本の地域保健状況と看護活動について 9. 高齢者の保健と看護について 10. 臨床場面に見る倫理的課題について

授 業 の 計 画	4 月 14 日 (水)	オリエンテーション, 健康とは
	4 月 21 日 (水)	看護の機能と役割 (看護理論) 1
	4 月 28 日 (水)	看護の機能と役割 (看護理論) 2
	5 月 12 日 (水)	タイの老人保健と看護活動 (Dr. R. Robkob) in English
	5 月 19 日 (水)	日本の老人保健と看護の役割 (七田教授)
	5 月 26 日 (水)	看護活動と倫理的課題 1 (グループワーク)
	6 月 2 日 (水)	看護活動と倫理的課題 2 (グループワーク)
	6 月 9 日 (水)	USA のヘルスケアシステムと看護の役割 (Dr. C. S. Melby) in English
	6 月 16 日 (水)	国際看護協力と異文化の共有 1 (束田 INFJ*)
	6 月 23 日 (水)	環境と健康
	6 月 30 日 (水)	看護の歴史と発展
	7 月 7 日 (水)	日本の地域保健活動と看護の役割 (宮地教授)
	7 月 14 日 (水)	国際看護協力と異文化の共有 2 (束田 INFJ*)
	7 月 21 日 (水)	保健行動論
	7 月 28 日 (水)	健康の文化社会的側面
成 績 評 価 の 方 法	筆記試験 50%, 出席 30%, レポート・その他 20%を原則とする。	
遠隔授業に関する注意	グループワークの時には, 遠隔授業では参加できない。	
履 修 上 の 注 意	各授業において配布する資料をよく復習し, 重要事項は特によく覚えておくこと。 看護理論に関連する講義は, 下記の教科書を参照すること。	
質 問, 相 談 へ の 対 応	質問等あればメールで対応する。	
教 科 書	竹尾恵子監修『事例で学ぶ看護理論』学研メディカル秀潤社, 〈2,520 円〉 授業のたびに資料を配布する。	
参 考 書	日本看護協会出版会編『看護関係統計資料集』日本看護協会出版会 厚生統計協会編『国民衛生の動向』厚生統計協会 南方恒次『行動科学からみた健康と病気』メヂカルフレンド社 Kath M. Melia ; Everyday Nursing Ethics, MacMillan Education Book	

* INFJ=International Foundation of Japan

授 業 名	物理学の世界
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	水曜日
メイン教室（対面教室）	信州大学全学教育機構 6 1 番講義室
開 講 時 間	1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 5 0
カブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（1 0 , 1 1 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	5 0 名
単 位 数	2 単位
教 員 氏 名	矢部 正之（信州大学全学教育機構）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-37-2367 メールアドレス yabe@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	「物理学」と言っても、物理学を道具として利用するための知識を得るための授業ではありません。もちろん、物理学は色々な場面で大変強力なツールとなりますが、それを抜きにしても（抜きにしたほうが）楽しくて面白い世界です。この授業では、その物理学の世界の一端に触れて、科学的なものの見方・考え方を体得します。自然を素直に観て、感じて、理解することを体験的に学びます。
授 業 の 概 要	身の回りの事象について、物理学の基本事項と関連して、（基本的に）講義 1 回ごとに対象とテーマを定めて学びます。内容は、物理学全般にわたりますが、特に、力、波、電気と磁気などに関わる身近な例を用いて、講義・解説をし、場合によっては、受講生自らに考えてもらいます。 概ね次に示す「授業の計画」の日程で実施します。 ただし、授業の進捗状況、受講生の状況によって適宜変化します。eChes（具体的な方法は、ガイダンスでお知らせします）で確認してください。

授 業 の 計 画	4 月 14 日 (水)	物理学って何? (履修ガイダンス)
	4 月 21 日 (水)	綱引きの科学 (見えない力を評価する)
	5 月 12 日 (水)	トルストイは正しいか? (力の合成と分解)
	5 月 19 日 (水)	ビデオとアリバイ (行動の記録と運動)
	5 月 26 日 (水)	バイト代は適切か? (仕事の評価とエネルギー)
	6 月 2 日 (水)	フィギュアスケートの科学 (回転運動)
	6 月 9 日 (水)	自転車はなぜ倒れない? (色々な保存則)
	6 月 16 日 (水)	シャワーカーテンの怪 (流体力学の世界)
	6 月 23 日 (水)	ノイズキャンセラーヘッドフォンの秘密 (波の伝わり方)
	6 月 30 日 (水)	モスキート着信音 (音の性質, 波と生体)
	7 月 7 日 (水)	スタンディングウェーブ現象と楽器の共通点 (定常波)
	7 月 14 日 (水)	超音波診断は優しく, ネズミ捕りは厳しい (ドップラー現象)
	7 月 21 日 (水)	「パチッ」は嫌い! (静電気)
	7 月 28 日 (水)	人間も電気と磁気の賜物 (生体電磁気)
	8 月 4 日 (水)	まとめ (自己学習とレポートになる場合もあります)
成 績 評 価 の 方 法	授業ごとのコミュニケーションシート (授業内容の確認チェックと出席調査) の提出状況 (5 割) と必要に応じて実施する課題や試験の結果 (合計して 5 割) を参考に, 総合的に評価します。	
遠隔授業に関する注意	1) 遠隔授業の受講者については, コミュニケーションシートを eChes で提出していただきます。その方法等については, ガイダンスで解説します。 2) 授業時間割編成の都合で, やむを得ず欠席・遅刻した場合は, ネット上で公開される授業コンテンツを, 後日必ず視聴してください。	
履 修 上 の 注 意	1) 欠席・遅刻しないこと。本講義は, 原則として 1 回完結の講義形式であり補完が利かないので, 時間の最初から必ず受講すること。 2) 高等学校での物理の履修を前提にしていないので, 気軽に受講してください。ただし, 講義の目的が科学的なものの見方の習得であるため, 直接には理工系の物理や関連科目の補習にはならないので注意してください。 3) 第 1 回授業のガイダンスは, eChes に事前にコンテンツとして提示されます。受講希望者は, 第 1 回目の授業出席に代えて, このコンテンツで学習しても構いません。 4) eChes 等の情報通信技術 (ICT) を用いた学習システムを多用しますので, ご承知置きください。	
質 問, 相 談 へ の 対 応	授業時間に積極的に質問等をしてください。メール (yabe@shinshu-u.ac.jp) での質問・相談, eChes 等の掲示板等もご利用ください。	
教 科 書	なし (eChes での資料提供などを適宜行います)	
参 考 書	「新しい高校物理の教科書」山本 明利, 左巻 健男著 (講談社ブルーバックス, 本体価格 1,150 円 + 税)	

授 業 名	英語基礎Ⅰ（たてなおしの英語）Part 1/2 [*「英語基礎Ⅱ」との連続授業]
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	木曜日
メイン教室（対面教室）	清泉女学院大学 F206教室
開 講 時 間	9:00～10:30
サテライト教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	20名
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	田村亮子（清泉女学院大学人間学部心理コミュニケーション学科）
教 員 連 絡 先	TEL 026-295-1363 メールアドレス ryokotam@seisen-jc.ac.jp
授 業 の ね ら い	○ 認識論（知性の仕組みについての理解）に基づいて英語の基礎理解を再構築する授業である。英文法の基礎理解が不十分なまま中学・高校をすごしたために、英語の文章を正確に読み書きすることに困難を覚えている学生、又、自分では英語力があると自負していながら、一定のレベル以上に前進できない現実に直面してその理由がわからずに足踏みをしている学生を対象とし、英語の仕組みについての「断片的」ではなく、「統合された」理解を、文字通り、ゼロから「たてなおし」、英語検定2級レベル以上の英語文献読解、英作文を可能とすることを目標とした訓練を行う。 ○ 音読とリスニングを強化するために不可欠な、英語の発音の仕組みの理解、発音記号の読み方も取り扱う。 ○ また、英語の学力のたてなおしを通じて、英語等の「苦手」科目がもたらす自信喪失状態から学生が自尊意識と自らの「学ぶ力」についての自信を回復するきっかけをつかむことができるよう援助することを目指す。
授 業 の 概 要	<★「履修上の注意」をまず読んでください。> ○「英語基礎Ⅱ（月曜日）」、「英語基礎Ⅰ（木曜日）」は「英語基礎（たてなおしの英語）」という同一科目の連続授業であり、週に2回（月曜日と木曜日）、一学期間で合計30回の授業を行う。従って、「英語基礎Ⅰ」だけ、「英語基礎Ⅱ」だけを単独で履修することはできない。 ○受講者は受講に先立って、英作文の実力試験を行う。（メイン教室[清泉女学院大学]では、4月2日（金）、遠隔授業受講者は、eChes上において行う。） ○授業は、 （1）まず、「英語ができるってどういうこと？」と題したIntroductionを通じて、これまでの自分の英語学習が適切なものであったのか、英語理解の前進を阻んでいる理由が何であったのかについての説明を試みる。そして、参加者個々人が、英語学習の全体像の中の自分の立ち位置を確認した上で、英語基礎の再構築の作業を進める。 （2）毎回の授業は講義形式であるが、受動的に講義を聴くだけでは内容の理解の安定した定着を図るという目的を果たすことはできない。従って、講義内容の理解に50%、講義を反映した練習問題の宿題の消化（自主学習）を50%と考えて、時間とエネルギーの時間配分を予定してほしい。 （3）この授業の英語の文法項目の取り扱い方には以下の特徴がある。 ① 文法は、「暗記する」ものではなく、「理解する」ものである、という基本原則に基づいて、理解すべき仕組みが「簡単な」項目から「難しい」項目へと、できるかぎり躓かずに進むことができる道筋で説明を進める。 ② 各文法項目を単独で取り扱うのではなく、積み木を積み上げるように、既習の文法項目の上に、新しい項目を重ねて比較、区別して理解を進めることで、ジグソーパズルを完成するように、文法の全体像を把握することができるようにする。 （4）Listeningの力は、文章の正確な音読能力と比例している。この授業では、英語の発音の仕組みの理解と発音記号の読み方、等もあわせて指導する。

授 業 の 計 画	4 月 8 日 (木)	[1] Introduction「英語を学ぶってどういうこと?」／勉強の仕方 (次回→「英語基礎 II」 4/12)
	4 月 15 日 (木)	[3] 第 4, 5 文型／添削の意味／辞書の使い方／名詞の格変化と代名詞 (次回→「英語基礎 II」 4/19)
	4 月 22 日 (木)	[5] 前置詞句 (次回→「英語基礎 II」 4/26)
	5 月 6 日 (木)	[7] Be 動詞と一般動詞の区別／疑問文・否定文／未来形・過去形 (次回→「英語基礎 II」 5/10)
	5 月 13 日 (木)	[9] 間接疑問文 (次回→「英語基礎 II」 5/17)
	5 月 20 日 (木)	[11] 形容詞節①：関係代名詞 (次回→「英語基礎 II」 5/24)
	5 月 27 日 (木)	[13] 関係代名詞の what／関係詞と疑問詞の区別 (次回→「英語基礎 II」 5/31)
	6 月 3 日 (木)	[15] 不定詞 (名詞用法)・動名詞 (次回→「英語基礎 II」 6/7)
	6 月 10 日 (木)	[17] 不定詞 (副詞用法) (次回→「英語基礎 II」 6/14)
	6 月 17 日 (木)	[19] 不定詞の区別 (次回→「英語基礎 II」 6/21)
	6 月 24 日 (木)	[21] 過去分詞の形容詞用法 (次回→「英語基礎 II」 6/28)
	7 月 1 日 (木)	[23] 現在分詞と動名詞の区別 (次回→「英語基礎 II」 7/5)
	7 月 8 日 (木)	[25] 比較文 (次回→「英語基礎 II」 7/12)
	7 月 15 日 (木)	[27] 分詞構文 (次回→「英語基礎 II」 7/19)
	7 月 22 日 (木)	[29] 仮定法 ① (次回→「英語基礎 II」 7/26)
成 績 評 価 の 方 法	■メイン教室 ①毎回の Short Quiz 80 点 ②予習・復習ノートチェック 20 点 ■遠隔授業教室 ① eChes による宿題と Short Quiz 100 点	
遠隔授業に関する注意	■リアルタイム授業を原則とするが、週 2 回の授業のため、参加者のスケジュールに合わせて、講義の録画を使用しての受講が可能である。	
履 修 上 の 注 意	■「英語基礎 II (月曜日)」,「英語基礎 I (木曜日)」は「英語基礎(たてなおしの英語)」という同一科目の連続授業であり、週に 2 回(月曜日と木曜日)、一学期間で合計 30 回の授業を行う。従って、「英語基礎 I」だけ、「英語基礎 II」だけを <u>単独で履修することはできない。</u> ■毎回の宿題を消化するために、各回の授業に対して、1 時間～2 時間の勉強時間を確保すること	
質 問 , 相 談 へ の 対 応	■eChes 上のメールで対応する。受け取った質問については、個人的な問題以外は、できる限り次の回の授業において回答する。	
教 科 書	オリジナルテキスト, と Power Point の Hand-Out (それぞれ eChes にて配布)	
参 考 書	■英語の辞書は、手持ちのものでよいが、授業中に説明する基準に合致しない辞書を所有している場合で、新規購入する場合は『サンライズ・クエスト英和辞典』(旺文社)をすすめる。 ■文法参考書は手持ちのものでよいが、持っていない場合には『ロイヤル英文法』(旺文社) <1,800 円> 又は『チャート式 新総合英語』(数研出版) <1,440 円> をすすめる。	

授 業 名	発達・学校臨床の実際
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	木曜日
メイン教室（対面教室）	清泉女学院大学F 2 0 6 教室
開 講 時 間	1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 1 0
サブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（1 0 , 1 1 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	2 0 名
単 位 数	2 単位
教 員 氏 名	眞榮城 和美（清泉女学院大学）
教 員 連 絡 先	TEL026-295-1352 メールアドレス maeshiro@seisen-jc.ac.jp
授 業 の ね ら い	本授業では、病院や学校などの臨床現場における活動（ボランティア活動等）を行う際に必要な実践的知識を身に付け、受講生が充実した活動を継続できるように支援していくことを目的としている。 具体的な到達目標は下記の3点である。 1. 発達・学校臨床活動における留意点の理解：自分がどのような立場で、どのようなニーズの元に活動を依頼されているのか、また、自分が活動する際に理解しておくべきことは何なのかを把握できるようになる。 2. 発達・学校臨床活動における基礎知識の習得：支援の対象者（児）に関する基礎知識を身につけ、対応方法について理解する。 3. 事例検討の活用方法の習得：事例検討を体験することにより、発達・学校臨床活動がよりよい形態で継続できるためには、定期的に事例検討を行うことの重要性を理解し、事例検討で話し合われた支援方法を実践の場面で活用できるようになる。
授 業 の 概 要	受講生は、まず「場面による心理学的実践の違い」と「発達・学校臨床活動時のマナー」について習得することが求められる。初回（ガイダンス）から第3回目授業までの間に、活動先で気持ちよく活動できるようにするための基礎を身につけることが必要となる。 第4回目から第6回目までの授業では、「発達・学校臨床活動基礎知識」について学び、第7回目の「発達・学校臨床活動直前ワーク」を通して、発達支援や学校支援活動を行う際に必要な知識と実践力を身につけることが求められる。 第8回目から第14回目では「発達・学校臨床活動報告・検討会」を行うことにより、実際に支援活動を始めてみて困ったことなどについて考える時間を取り、他のメンバーからの意見を聴くことにより、今後の活動がより充実したものとなることを目指す。 特に、「発達・学校臨床活動報告・検討会」では、さまざまな臨床現場で支援活動を行っている学生が中心となり実践報告・検討会を進めていく（発表者の人数は毎回3名程度を予定）。なお、発表者の順番は受講生の希望を尊重する形で決定し、可能な限り受講生全員が1度は発表できるようにしたいと考えている。 離れたキャンパスをつないだ形式で授業が進行するため、活動の報告者となる学生は事前に報告書（検討会に必要な資料）を用意し、授業担当者にメール送信しておく必要がある。 授業の最終回終了後にレポート課題を課す。課題は授業内で指定された期限までに授業担当者宛メール添付にて提出するものとする。

授 業 の 計 画	4 月 8 日 (木)	発達・学校臨床の実際とは (ガイダンス)
	4 月 15 日 (木)	場面による心理学的実践の違い
	4 月 22 日 (木)	発達・学校臨床活動時のマナー
	5 月 6 日 (木)	発達・学校臨床活動基礎知識 1: LD 児への対応
	5 月 13 日 (木)	発達・学校臨床活動基礎知識 2: ADHD 児への対応
	5 月 20 日 (木)	発達・学校臨床活動基礎知識 3: 広汎性発達障害児への対応
	5 月 27 日 (木)	発達・学校臨床活動直前ワーク
	6 月 3 日 (木)	発達・学校臨床活動報告・検討会 1
	6 月 10 日 (木)	発達・学校臨床活動報告・検討会 2
	6 月 17 日 (木)	発達・学校臨床活動報告・検討会 3
	6 月 24 日 (木)	発達・学校臨床活動報告・検討会 4
	7 月 1 日 (木)	発達・学校臨床活動報告・検討会 5
	7 月 8 日 (木)	発達・学校臨床活動報告・検討会 6
	7 月 15 日 (木)	発達・学校臨床活動報告・検討会 7
	7 月 22 日 (木)	まとめと授業アンケート
成 績 評 価 の 方 法	出席 20 点・授業への積極性 10 点・発表内容 30 点・授業終了時のレポート 40 点にて評価を行う。	
遠隔授業に関する注意	遠隔事例検討会を中心とした授業となるため、開講時に在席し、参加することを原則とする。	
履 修 上 の 注 意	学習チューター活動やピアメンター活動を行っている者、子どもに関わるボランティア活動を行っている者への活動支援を目的としているため、これらの活動に関わっている、またはこれらの活動に関心がある者を履修対象者とする。	
質 問 , 相 談 へ の 対 応	基本的には授業中に対応する。授業時間外に生じたい質問や相談については、メールにて応じる。	
教 科 書	授業中に適宜紹介する。	
参 考 書	内山登紀夫(監修)安倍陽子・諏訪利明(編) 特別支援教育をすすめる本 2 こんなときどうする?発達障害のある子への支援・小学校 2009 ミネルヴァ書房<2,500 円> 内山登紀夫(監修)中山清司(編) 特別支援教育をすすめる本 3 こんなときどうする?発達障害のある子への支援・中学校以降 2009 ミネルヴァ書房<2,500 円> 磯部潮(監修)不登校・ひきこもりの心がわかる本 2007 講談社健康ライブラリーイラスト版 <1,200 円>	

授 業 名	社会の中の個人として生きる
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	木曜日
メイン教室（対面教室）	信州大学全学教育機構 2 1 1 番演習室
開 講 時 間	1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 5 0
サテライト教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	30名
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	加藤 鉦三（信州大学全学教育機構）、加藤 善子（信州大学全学教育機構）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-37-2256 メールアドレス kinoene@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	この授業では、コミュニケーションを理解するための基本的な理論や知識を習得しながら、受講する学生が実際にその理論や知識を使って、コミュニケーション能力を高める練習をする。人をまとめていくには、どのように聞き、話せばよいのか、また、直接かわりを持たない人たちと関係を作り、生産的な関係に変えるには何をすればよいのか、15回の授業を通して遠隔キャンパスの受講生同士で練習をし、私たちなりの結論を出すことを目指す。 受講生が取り組む課題は、第一に対面でのコミュニケーションの方法の取得、第二にオンラインでの人間関係構築の手法の開発、第三に、異なる知識や意見をまとめあげて新しい考えを生産する過程の経験と訓練である。
授 業 の 概 要	受講生は、コミュニケーションに関する社会学や心理学の理論を学ぶ。受講生は、予習をこなし、準備をしたうえで講義に臨み、15分から20分の講義の後に、実際にディスカッションをする。 この授業は、離れたキャンパスをつないで行うので、全く専門分野が異なる学生同士でディスカッションを行うことになる。ひとつのテーマや課題に対しても、様々なアイデアや解決方法に接することが期待される。受講生同士の交流が、この授業の学習の核となるので、積極的に参加してほしい。交流や議論の家庭で、専門が異なる人々を理解し、説得するためにはどのようにすればよいのかを解決してほしい。また、離れたキャンパスを結ぶ通信技術を、いかに使えば有効にコミュニケーションや関係構築に利用されるか、アイデアを出して試行錯誤していく。実験的な思考と試行の場を提供することも目的である。 担当者の一人（加藤善子）は、松本キャンパスから講義を行うが、もう一人の担当者（加藤鉦三）は、週ごとに離れたキャンパスにてファシリテーションを行う。担当者が二人ともいないキャンパスでも、ディスカッションが円滑に進むように、最初の数回を使ってコミュニケーションの約束事や注意すべき点など、基本的な事柄を習得するので、自律して話し合いを行う力が身につくはずである。中間レポートは、複数キャンパスにまたがるメンバーで共同で取り組むので、コミュニケーションの技術を身につけているかどうかは内容の完成度に影響する。期末レポートは個人課題であるが、この授業での経験を振り返り、知識と経験によって得られた知見をまとめる課題を課す。課題はすべて eChes 上で提示・提出をするものとする。

授 業 の 計 画	4 月 15 日 (木)	イントロダクション, シラバス, 名前とアイスブレイキング
	4 月 22 日 (木)	なぜ自分に合う人と合わない人がいるのか?
	5 月 6 日 (木)	対人コミュニケーションの「型」
	5 月 13 日 (木)	メディアとコミュニケーション【文献 1 を読んでおくこと】
	5 月 20 日 (木)	人の集まりとコミュニティの違い【文献 2 を読んでおくこと】
	5 月 27 日 (木)	コミュニティをつくるには【文献 3 を読んでおくこと】
	6 月 3 日 (木)	関係がもたらす情報の種類【文献 4 を読んでおくこと】
	6 月 10 日 (木)	中間まとめとディスカッション 1
	6 月 17 日 (木)	中間まとめとディスカッション 2
	6 月 24 日 (木)	中間課題の提出, アイデアの発表
	7 月 1 日 (木)	個人として主体的に生きるには【文献 5 を読んでおくこと】
	7 月 8 日 (木)	集団の中で主体的に生きるには
	7 月 15 日 (木)	リーダーは何をする人か【文献 6 を読んでおくこと】
	7 月 22 日 (木)	リーダーシップのない人はダメな人か(下から上の人を動かすには)
	7 月 29 日 (木)	期末課題の提出, ふりかえりと授業アンケート
成 績 評 価 の 方 法	出席 30 点 (各キャンパスで規定回数以上欠席した時点で失格とする) 予習 30 点 (一回につき 5 点×6 回=30 点) 中間プロジェクト 20 点 (グループ点 10 点, 個人点 10 点) 最終レポート 20 点	
遠隔授業に関する注意	◎基本的にリアルタイム授業を配信し, 双方向性を確保するので, 開講時に在室し, 参加することを原則とする。 ◎各大学やキャンパスで開講時期や開講時間がずれる場合があるが, 開講時までにスケジュールを確認して周知するので, すべての大学・キャンパスの受講生が受講できる授業日にはできるだけ出席するよう心がけられたい。スケジュールのずれる大学・キャンパスでは, 講義の録画を使って授業を行うが, ここでも出席をとり, かつグループワークを行うので, 出席が前提となる。	
履 修 上 の 注 意	◎文献を読む際は, ある程度の時間(最低 1 時間)を確保して確実に理解するように努力すること。	
質 問, 相 談 へ の 対 応	eChes 上のメールで対応する。また, 研究室での指導を望む場合は, 講師にあらかじめ連絡をすること。	
教 科 書	参考書の該当箇所を eChes 上に提示する。必ず読んだ上で課題に取り組むこと。	
参 考 書	竹内洋『社会学の名著 30』ちくま新書, 2008。<740 円> 安田雪『実践ネットワーク分析—関係を解く理論と技法』新曜社, 2001。<2520 円> 柴野昌山『青少年・若者の自立支援—ユースワークによる学校・地域の再生』世界思想社, 2009。<2100 円>	

授 業 名	国際看護学
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	金曜日
メイン教室（対面教室）	長野県看護大学 中講義室 4
開 講 時 間	10:40～12:10
サテライト教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	20名程度
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	宮越 幸代（長野県看護大学）
教 員 連 絡 先	TEL 0265-81-5153 メールアドレス miyakoshi-sachiyo@nagano-nurs.ac.jp
授 業 の ね ら い	1. 国際看護の実践に必要な基礎的知識を学び、国や地域、文化や人種などあらゆる違いを超えた看護を実践する方法を考える 2. 既習の知識や技術、これまでの経験をもとに、国際看護における具体的な状況判断が必要な事例に関する検討を通して、自分が実践したい国際看護を明確にする 3. 国や地域、文化や人種などあらゆる違いを超えた看護の経験を活かす可能性を考える
授 業 の 概 要	看護ケアは元来、年齢、皮膚の色、信条、文化等、個人の様々な条件を尊重して行われるべきものであり、これらを理由に制約されることはない。しかし、我が国では「あらゆる人々に普遍的である」という看護のニーズに応えるべき我々看護職の役割が、ようやく再認識され始めたばかりである。本授業では、国や文化を超えて看護職が人々の健康生活や保健医療の課題に向き合い、実践力を発揮し、その経験を活かすための方法を学び、国内外で求められる看護のあり方とその可能性を考える。具体的には、国際保健医療に関する基本的な知識を確認しながら、国際保健医療における看護の役割および具体的な実践方法など、豊富な事例を取り上げながら解説・意見交換できる授業にしたい。本学は単科大学であるため、このたびの遠隔授業は、他大学・他学部の学生との積極的な意見交換ができるよう、なるべく身近な事例を多くとりあげるなどの工夫をしたい。 授業開始後は提出されたレポートの記述内容、受講者の期待・反応などにより、レポート作成や意見交換のタイミングが適宜、変更される可能性を受講生は了解しておく。また、初回は受講生の受講動機や受講生が描く国際看護のイメージ、具体的な進路の分野などを記述するレポートを課すので、この授業で学習してみたい内容・希望を考えておく。レポートや評価においては、授業で学んだことを元に、自分の考えを根拠と共に説明できることを期待する。

授 業 の 計 画	4 月 16 日 (金)	オリエンテーション 「国際看護」の定義の講義・受講動機等のレポート作成
	4 月 23 日 (金)	「国際看護をめざす意味」に関する講義・意見交換
	5 月 7 日 (金)	「国際看護で学ぶこと」に関する講義・意見交換
	5 月 14 日 (金)	「国際看護の場と対象」に関する講義
	5 月 21 日 (金)	「国際看護の活動」に関する講義
	5 月 28 日 (金)	「国際看護をめぐる学問領域」に関する講義
	6 月 4 日 (金)	「国際看護に関連する機関と活動における連携 1」に関する講義・レポート作成
	6 月 11 日 (金)	「国際看護に関連する機関と活動における連携 2」に関する講義
	6 月 18 日 (金)	「世界の医療・看護をめぐる状況 1」に関する講義・意見交換
	6 月 25 日 (金)	「世界の医療・看護をめぐる状況 2」に関する講義
	7 月 2 日 (金)	中間評価（これまで学んだ内容に関する小試験） 「国際看護協力の実際」に関する講義
	7 月 16 日 (金)	「国際看護実践に必要な知識・技術」に関する講義
	7 月 23 日 (金)	「国際看護の可能性 1」に関する講義・レポート作成
	7 月 30 日 (金)	「国際看護の可能性 2」に関する意見交換
	8 月 6 日 (金)	まとめ・最終評価（試験）・アンケート記入 等
成 績 評 価 の 方 法	授業出席状況 30%（各大学が指定する回数以上欠席した時点で失格とする） 中間および最終評価（試験）結果 50% 授業後のレポート課題提出（テーマ毎・複数・不定期）20%	
遠隔授業に関する注意	◎写真・ビデオ画像などを多めに使いますので、画面が見やすい位置に座って下さい。特に長野県看護大学の学生で「国際看護実習」を履修希望の学生は、実習先である開発途上国の現状と看護活動を具体的に描けるよう、意識して学ぶこと。 ◎各大学のカリキュラムの都合で途中から受講する学生は、それまでに課されてきたレポート課題を指定した期限までに提出すること。 ◎リアルタイムの授業の原則とするが、事情によっては講義の録画を使って授業を行うこともある。その場合も出席をとるため、全講義とも出席が前提となる。	
履 修 上 の 注 意	講義の内容を聞いてから、自分の考えをまとめるレポートもありますので、授業で学んだ内容を反映したレポートを作成してください。	
質 問 , 相 談 へ の 対 応	メールにて受け付ける。 miyakoshi-sachiyo@nagano-nurs.ac.jp	
教 科 書	特に指定しないが、長野県看護大学の学生で「国際看護実習」を履修希望の学生は、授業内で適宜紹介する教科書を購入しておくことを薦める。	
参 考 書	授業内で適宜紹介する。	

授 業 名	大学院生向け英作文
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	金曜日
メイン教室（対面教室）	信州大学全学教育機構 211 番演習室
開 講 時 間	16:20～17:50
サグ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	30名
単 位 数	なし
教 員 氏 名	加藤 鉦三（信州大学全学教育機構）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-37-2256 メールアドレス kinoene@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	No relation between one's character and appearance is approved medically. この英文は、「人の性格と外見との間には医学的には関係が認められない」ということを意図したものであるが、実際にはそう解釈することはできない。と言うのは、日本語の「認める」には、「月面には生物は認められない」のような「見られない」の意味と、「その行為は認められない」のような「許可」の意味があるが、approve には、後者の「許可」の意味しかないからである。 このように、日本人の書く英文は、（文法的な誤りを除けば）エラーの多くは ・日本語の解釈が十分でなく ・「意味」を考えないで「訳語」で対応する英語表現を探す というところに起因する。 このクラスでは、受講生の英作文に見られる誤りを通して、 ・「訳語」ではなく「意味」を考えて英文を書く という訓練を行う。
授 業 の 概 要	授業は次のようにして進める。 受講生は、与えられたテーマに従って2パラグラフ程度の英文を書き、メールで提出 教員はそれを添削し、受講生に戻す 受講生は自分が添削された部分について - 何が間違っているのか - どうして間違っているのか - どう直せばいいのか を教員にレポートする その後、受講生のエラーのうち「皆のためになる」ものについて、皆で考える。

授 業 の 計 画	4 月 9 日 (金)	ガイダンス, 作文の指示
	4 月 16 日 (金)	以下, 「授業の概要」で示したサイクル
	4 月 23 日 (金)	
	4 月 30 日 (金)	
	5 月 14 日 (金)	
	5 月 21 日 (金)	
	5 月 28 日 (金)	
	6 月 11 日 (金)	
	6 月 18 日 (金)	
	6 月 25 日 (金)	
	7 月 2 日 (金)	
	7 月 9 日 (金)	
	7 月 16 日 (金)	
	7 月 23 日 (金)	
	7 月 30 日 (金)	期末試験
成 績 評 価 の 方 法	期末試験で評価するが, 単位認定はできない	
遠隔授業に関する注意	◎基本的にリアルタイム授業を配信し, 双方向性を確保するので, 開講時に在室し, 参加することを原則とする。 ◎各大学やキャンパスで開講時期や開講時間がずれる場合があるが, 開講時までにスケジュールを確認して周知するので, すべての大学・キャンパスの受講生が受講できる授業日にはできるだけ出席するよう心がけられたい。スケジュールのずれる大学・キャンパスでは, 講義の録画を使って授業を行うが, ここでも出席をとり, かつグループワークを行うので, 出席が前提となる。	
履 修 上 の 注 意	【単位について】 この授業は信州大学での『大学院共通教育』の可能性を模索する実験授業であり, 正規の授業ではないため, 単位は出ない。 【学部生の受講について】 この授業は「大学院生向け英作文」という名称であるが, 学部生の受講を制限するものではない。「自分は英語が好きで, 英作文の力を伸ばしたい」と人に向かって言えるなら, 学部生であっても受講できる。	
質 問, 相 談 へ の 対 応	eChes 上のメールで対応する。また, 研究室での指導を望む場合は, 講師にあらかじめ連絡をすること。	
教 科 書	なし	
参 考 書	必要に応じて追って指定する。	

《前期 完全 e-Learning 科目》

※全ての授業を e-Learning で行いますので曜日時間の指定はありません。

授 業 名	電子出版と社会
開 講 期 間	前期（春学期）
曜 日	e-Learning
メイン教室（対面教室）	e-Learning
開 講 時 間	e-Learning
カブ教室（遠隔受講教室）	e-Learning
遠隔授業受講学生定員	制限せず
単 位 数	2 単位
教 員 氏 名	鈴木 治郎（信州大学）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-37-2366 メールアドレス szkjiro@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	インターネットは誰でも発信できるメディアだといわれるようになって久しいですが、一般利用者にとって情報発信のための技術的障壁が存在してきたことも事実です。それが、ここ数年間のブログの普及によって本当に誰もが情報発信できる時代に入ったといえます。そうした時代における今日の出版状況は、印刷物ばかりが出版ではないという現象の進行を早め、技術的にはクロスメディアと呼ばれる同じ情報ソースから紙媒体の印刷物およびインターネット上の Web ページを作り上げる技術が発展しつつあり、出版の定義が変化してきています。そうした中で紙媒体以外のインターネットや CD-ROM を通じた出版が総じて電子出版と呼ばれており、このような現代の状況に対する総合的な理解を深めることを目的とします。
授 業 の 概 要	上記の目的をよく理解するために、電子出版と呼ばれる技術を形作る基礎となる実際に電子出版をめぐる社会現象に関する調査をし、それを eChes 上でレポートします。 扱う各題材については、教員による概説ビデオが毎週 eChes 上で提供されます。また、さらに調べるための参考資料が教員提供サイト Dtpedia http://ehrlich.shinshu-u.ac.jp/dtp/ に用意してあります。受講者は、毎週の課題について、概説に述べた方向性にしたがって書籍やインターネット上の資料について調査することが必要です。 また、そこで扱う多くの課題はワープロソフトの利用やウェブページの作成に対して、出版編集技術に根差した、より基本的な見方に沿った理解を深めるよう用意された課題となっていますので、実際にコンピュータ上でブラウザやワープロを利用しながら多くの演習をこなすことによって理解を深めてください。 講義内容はそのとき話題になっている時事ニュースに応じて変化します。

授 業 の 計 画	未定	授業の履修方法について遠隔講義システムを通じた解説をします。
	(ここにあげた順序通りとは限りません)	Wikipedia について
		書籍の成り立ちについて
		電子出版の歴史について
		ウェブページの成り立ちについて
		ワープロと出版について
		クロスメディアについて
		音楽・ビデオ配信について
		以上の項目と現在発展中の話題と関連した内容を適宜扱います。
成 績 評 価 の 方 法	eChes 上の提出課題で 100 点	
遠隔授業に関する注意	各課題は曜日・時間帯に限らず受講できますが、各自、毎週の決まったペースを設けて受講することを勧めます。	
履 修 上 の 注 意	信州大学松本キャンパス在学学生は受講できません。インターネットの検索や利用については各自で慣れていってください。毎週必ず eChes 上での課題確認をしてください。	
質問，相談への対応	eChes 上の掲示板で基本的に対応します。	
教 科 書	指定しません。	
参 考 書	松原慶太他共著『標準 Web デザイン講座 基礎編 第 2 版』翔泳社，2006 年．＜2,310 円＞ 益子貴寛他共著『標準ガイドブック Web リテラシー』ワークスコーポレーション，2007 年．＜2,980 円＞ 湯浅俊彦『電子出版学入門』出版メディアパル，2009 年．＜1,260 円＞ うえがき麻矢著『これならわかる Web 標準サイトの作り方入門の入門』翔泳社，2007 年．＜1,890 円＞ 波多江潤子著『新詳説 DTP 基礎』MdN，2007 年．＜2,625 円＞	

《後期》

授 業 名	哲学と政治
開 講 期 間	後期（秋学期）
曜 日	月曜日
メイン教室（対面教室）	信州大学全学教育機構 6 1 番講義室
開 講 時 間	10:40～12:10
サブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	特に定めない
単 位 数	2 単位
教 員 氏 名	小山 花子（信州大学）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-37-2875 メールアドレス koyamah@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	本講義では、いわゆる西洋哲学について、主に哲学者と社会・政治との関わりという観点から総合的に学ぶ。
授 業 の 概 要	「哲学と政治の深淵は、ソクラテス裁判において開けた」というハンナ・アーレントの指摘にならって、本講義も、ソクラテスとソクラテス裁判についての分析から始める。そして、現代思想やフェミニズム（女性学）までの西洋哲学の主要な展開を学ぶ。講義時間中には、ビデオを上映することがある。

授 業 の 計 画	10 月 4 日(月)	イントロダクション： 本講義の概要
	10 月 18 日(月)	ソクラテスとソクラテス裁判
	10 月 25 日(月)	プラトン： 『国家』を中心に
	11 月 1 日(月)	ソクラテスとプラトン： まとめと復習，問題提起
	11 月 8 日(月)	アリストテレスの幸福論
	11 月 15 日(月)	マキアベリ（１）： ビデオ『君主論』鑑賞
	11 月 22 日(月)	マキアベリ（２）： まとめと復習
	11 月 29 日(月)	中間レポートの作成，提出
	12 月 6 日(月)	ヘーゲル哲学について学ぶ
	12 月 13 日(月)	功利主義： ベンサム，ミルから現代の動物愛護思想まで
	12 月 20 日(月)	マルクス主義，アナーキズムと，エコロジー思想
	1 月 12 日(水) ※振替授業日	フェミニズムの展開
	1 月 17 日(月)	アーレント： 哲学の終焉と，自由の再評価
	1 月 24 日(月)	復習と質疑応答
	1 月 31 日(月)	期末テスト
成 績 評 価 の 方 法	出席状況（20%），中間レポート（30%），学期末に行うテスト（50%）によって評価する。	
遠隔授業に関する注意	基本的にリアルタイム授業を配信し，双方向性を確保するので，開講時に在室し，参加することを原則とする。	
履 修 上 の 注 意	固定観念にとらわれず，自由な発想ができる学生を歓迎する。 授業時間外にも，本を読むなどして勉強を怠らないこと。	
質 問 ， 相 談 へ の 対 応	メール（koyamah@shinshu-u.ac.jp）にて受け付ける。	
教 科 書	トマス・ネーゲル『哲学ってどんなこと?—とっても短い哲学入門』昭和堂，1993 年	
参 考 書	プラトン『ソクラテスの弁明・クリトン』講談社学術文庫，1998 年 江原由美子・金井淑子編『フェミニズム』新曜社，1997 年 ハンナ・アーレント『過去と未来の間』みすず書房，1994 年 ピーター・シンガー編『動物の権利』技術と人間，1986 年	

授 業 名	ドイツ語（初級）Ⅱ
開 講 期 間	後期（秋学期）
曜 日	月曜日
メイン教室（対面教室）	信州大学全学教育機構 211 番演習室
開 講 時 間	16:20～17:50
カブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	20 名程度
単 位 数	1 単位
教 員 氏 名	松岡 幸司（信州大学）
教 員 連 絡 先	メールアドレス maulwurf@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	到達目標： 「ドイツ語（初級）Ⅰ」に引き続き、読み・書き・話し・聞くための基礎的なドイツ語力を学びつつ、異文化圏としてのドイツ語圏について 概観する。その結果、「初級Ⅰ」から引き続き受講した後にしっかり自習することで、進級後の独検 3 級春期試験に合格するドイツ語力を身につける。 学ぶべきこと： 1. 一つ一つの文法項目を積み上げ、組み合わせ、統合して使いこなす方法 2. ドイツ語の発音 3. 異文化圏としてのヨーロッパ理解
授 業 の 概 要	文法学習について： 前期に習得したことを土台として、さらに「学習」した個々の項目を自由自在に組み合わせて、読み・書き・話し・聞くための能力 を延ばすことが目標である。そのためには、授業で扱った内容を次の授業までにしっかりと復習し、疑問点を明確にし、定着させて進んでいかなければならない。 発音について： 前期に引き続き、重点をおく。 授業の全体像： 最初の授業で前期の復習を行うが、以後、授業内で既習事項の確認を行う。積極的な自習によって新規学習事項との関連を確認するように。 基本的に 1 課終了ごとに小テストを行うことで、自己評価（チェック）に役立ててもらふ。その他に、中テスト・期末試験、発音チェックの口頭試験を行う。

授 業 の 計 画	10 月 4 日 (月)	前期の復習
	10 月 18 日 (月)	
	10 月 25 日 (月)	Szene 3(2) : Lektion 9~10 / 前置詞の応用
	11 月 1 日 (月)	
	11 月 8 日 (月)	中テスト, まとめと復習
	11 月 15 日 (月)	
	11 月 22 日 (月)	
	11 月 29 日 (月)	Szene 4 : Lektion 11~13 / 動詞の応用
	12 月 6 日 (月)	
	12 月 13 日 (月)	
	12 月 20 日 (月)	中テスト, まとめと復習
	1 月 12 日 (水) ※振替授業日	
	1 月 17 日 (月)	Szene 5 : Lektion 14~15 : 過去を表す表現
	1 月 24 日 (月)	
	1 月 31 日 (月)	期末試験
成 績 評 価 の 方 法	既習事項の習得度を下記のような方法で確認し, 評価する。 平常点 30 点 : 小テスト, 口頭テストの得点率を 30 点満点に換算する。 試験 70 点 : 中テスト (30 点), 期末試験 (40 点) のように換算する。	
遠隔授業に関する注意	信州大学松本キャンパス以外の受講生は, 画面を通してでも積極的に参加してください。授業内容については, eChes 上にアップします。予習復習に役立ててください。	
履 修 上 の 注 意	・「ドイツ語 (初級) I」を受講していることが受講の条件です。 ・予習よりも復習に重点をおく! ・毎回の授業の後には必ず復習を行い, 自分の理解度を確認すること。「復習」というのは「理解できた部分とできなかった部分をはっきりさせる」ために行うものである。 ・授業内でも授業外でも, 音読の練習を際限なく繰り返すこと。 ・理解度・習得度の低かった事柄については, 次回の授業, メール, オフィスアワーなどを活用して, 必ずしっかりと確認すること。 ☆この授業は「遠隔授業」であり, 高等教育コンソーシアム信州加盟各大学での受講が可能。他の大学の人と交流しながらドイツ語を身につけよう! ☆映像の向こうの授業であっても, 積極的な発言を期待している!	
質 問, 相 談 へ の 対 応	オフィスアワー: 初回授業で伝える。 研究室の場所: 信州大学全学教育機構南棟 3 階の北側 メールアドレス: maulwurf@shinshu-u.ac.jp	
教 科 書	近藤/小林/新倉/松尾: Dialog ベーシック版<新版> 郁文堂 ¥2,400-	
参 考 書	清野智昭: ドイツ語のしくみ. 白水社. ¥1,470-	

授 業 名	民主主義について
開 講 期 間	後期（秋学期）
曜 日	火曜日
メイン教室（対面教室）	信州大学全学教育機構 6 1 番講義室
開 講 時 間	9：00～10：30
サテライト教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10，11ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	特に定めない
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	小山 花子（信州大学）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-37-2875 メールアドレス koyamah@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	本講義では，様々な民主主義のあり方について，総合的に学ぶ。特に，「古代型」の民主主義と「近代型」の民主主義との比較をつうじて，民主主義の本質に迫る。
授 業 の 概 要	誰もが分かっているようでありながら，よく考えてみると雲のように散っていく多義的な存在が，民主主義である。今日，民主主義を求める声は，世界的に高まっているといえる。しかし，この民主主義が厳密に何を意味するかについては，共通理解があるとは必ずしもいえない。民主主義は，具体的にどのような制度や仕組みを伴うべきなのか。民衆による統治は，衆愚政治に至るという古くからの批判に対して，どのように反論できるのか。本講義では，古代ギリシアのポリスから現代まで，世界各地に存在してきた民主主義の多様な形態をさぐることで，民主主義に根本的な制度や理念を明らかにする。

授 業 の 計 画	10 月 5 日(火)	イントロダクション：問題提起
	10 月 12 日(火)	政治学の基礎概念
	10 月 19 日(火)	古代ギリシアにおける民主主義（１）：ポリスとは
	10 月 26 日(火)	古代ギリシアにおける民主主義（２）：くじ引き民主主義というオプション
	11 月 2 日(火)	G・オーウェル原作，アニメ『動物農場』を皆で鑑賞
	11 月 9 日(火)	権力について考える
	11 月 16 日(火)	中間レポートの書き方
	11 月 30 日(火)	社会契約論の考え方：ホッブズとロック
	12 月 7 日(火)	共和制 vs. 民主制：フェデラリスト第 10 篇を読む
	12 月 14 日(火)	ルソーの一般意志概念が目ざすもの
	12 月 21 日(火)	投票と民主主義（１）：異なる投票方式による「多数派」の推移
	1 月 11 日(火)	投票と民主主義（２）：2000 年米大統領選の分析，世界の選挙制度
	1 月 18 日(火)	独裁と指導者民主主義
	1 月 25 日(火)	復習，Q&Aセッション
	2 月 1 日(火)	期末テスト
成 績 評 価 の 方 法	出席状況（20％），中間レポート（30％），学期末に行うテスト（50％）によって評価する。	
遠隔授業に関する注意	基本的にリアルタイム授業を配信し，双方向性を確保するので，開講時に在室し，参加することを原則とする。	
履 修 上 の 注 意	民主主義や，平等ということについて熱い思いを持っている学生を歓迎する。授業時間外にも，本を読むなどして勉強を怠らないこと。	
質問，相談への対応	メール（koyamah@shinshu-u.ac.jp）にて受け付ける。	
教 科 書	R・A・ダール『デモクラシーとは何か』（岩波書店）	
参 考 書	ウィリアム・パウンドストーン『選挙のパラドクス——なぜあの人が選ばれるのか？』（青土社） アレンド・レイプハルト『民主主義対民主主義：多数決型とコンセンサス型の36ヶ国比較研究』（勁草書房，2005年） ウィリアム・H・ライカー『民主的決定の政治学—リベラリズムとポピュリズム』（芦書房，1982年） C・B・マクファースン『現代世界の民主主義』（岩波書店，1967年）	

授 業 名	社会学
開 講 期 間	後期（秋学期）
曜 日	火曜日
メイン教室（対面教室）	松本大学524教室
開 講 時 間	13:30～15:00
カブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	30名
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	眞次 宏典（松本大学）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-48-7200（代） メールアドレス hironori.matsugu@matsu.ac.jp
授 業 の ね ら い	本講義のねらいは、社会学の基本的な諸概念を検討しながら、社会学の基本的なものの見方、問題の立て方、考え方について理解を得ることにあります。 この講義では、社会学の入門および概論として必要な知識や概念が習得できるように講義をします。社会学の対象は広範です。講義では、個人のアイデンティティ、家族、地域コミュニティ、国家と社会、国際社会、仕事と労働、宗教、情報、テクノロジーなどを具体的な事例を素材として分析と検討を加えながら、社会学のものの見方、問題の立て方、考え方について理解ができるようにします。
授 業 の 概 要	講義は指定したテキストを用いながら、関連した新聞や雑誌の記事などを取り上げつつ、社会学の基本的な知識を習得できるようにします。講義やテキストで得た知識をたんなる机の上での「お勉強」に終わらせないため、「社会学の講義で習ったあの言葉が、こういう事件や問題と関連しているのだなあ」という実感を持てるように工夫していきます。 この講義は、松本大学での講義を配信し、それを受講生が各大学の施設内で受講するという形態をとります。教室内では講義時間中に教員と学生の双方向的コミュニケーションを取るように心がけていますが、遠隔授業ではそれができないので、代わりにメールなどの形で質問を受け付けます。講義内容についての質問、感想などを担当教員に対して送ってくれることを望みます。

授 業 の 計 画	9 月 28 日 (火)	オリエンテーション：社会学とはどういう学問なのか
	10 月 5 日 (火)	「近代」と近代社会のあり方
	10 月 12 日 (火)	個人と社会のあり方
	10 月 19 日 (火)	家族と社会のあり方
	10 月 26 日 (火)	ジェンダーと社会のあり方
	11 月 2 日 (火)	都市と社会のあり方
	11 月 9 日 (火)	地域社会と地域コミュニティ
	11 月 16 日 (火)	社会とコミュニケーションのあり方
	11 月 30 日 (火)	社会とテクノロジーのあり方
	12 月 7 日 (火)	社会と情報のあり方
	12 月 14 日 (火)	社会と宗教のあり方
	12 月 21 日 (火)	社会と医療・福祉のあり方
	1 月 11 日 (火)	国際化とグローバリズム
	1 月 18 日 (火)	社会変動と新しい社会運動
	1 月 25 日 (火)	まとめ
成 績 評 価 の 方 法	平常点 10%，期末試験 90%で評価します。	
遠隔授業に関する注意	基本的にリアルタイム授業を配信し，各大学・各キャンパスで受講するという形態を予想して行います。ただ，遠隔授業の場合は，各大学，キャンパスごとの時間割とずれが発生するが，開講時までにスケジュールを確認して周知するので，遠隔授業の受講生は授業を行う日にはできるだけ受講するようにしてください。	
履 修 上 の 注 意	授業時間外には予習よりも復習を求めます。講義で取り扱った事項について指定教科書，下記の参考書，およびその他の書物，新聞，インターネットなどで各自理解を深めるよう心がけてください。	
質 問 ， 相 談 へ の 対 応	メール（hironori.matsugu@matsu.ac.jp）にて対応するが，連絡があれば研究室での指導も行う。	
教 科 書	森下伸也『社会学がわかる事典』日本実業出版社，2000。＜1,575 円＞	
参 考 書	稲葉振一郎『社会学入門——多元化する時代をどう捉えるか』日本放送出版協会，2009。＜1,124 円＞ 富永健一『社会学講義』中公新書，1995。＜900 円＞ 長谷川公一・浜日出夫ほか『社会学』有斐閣，2007。＜3,675 円＞	

授 業 名	医用生体工学
開 講 期 間	後期（秋学期）
曜 日	水曜日
メイン教室（対面教室）	諏訪東京理科大学 4 3 2 教室
開 講 時 間	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
カブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	1 0 0 名
単 位 数	2 単位
教 員 氏 名	清水 俊治（諏訪東京理科大学）
教 員 連 絡 先	TEL 0266-73-1201 メールアドレス shun@ed.suwa.tus.ac.jp
授 業 の ね ら い	遺伝子工学や組織再生工学の進歩、fMRI や人工臓器の開発など、近年の医療や医学分野の進歩は非常にめざましい。これからの進歩の基礎は医用生体工学による医療機器の研究・開発に負うところが大きい。また、脳の研究やニューロンコンピュータの様に生体の優れた機能を工学に取り組むことにも貢献してきた。本講義では、医用生体工学に関する技術と事例について基礎を取得し、理解を深めることを目的とする。
授 業 の 概 要	本講義では、まず初回ではガイダンスを兼ねて、講義概要について解説し、2 回目以降から主たる内容を説明する。特に序盤では、生体における高度な情報処理を可能としているニューロンとそのネットワークの情報処理機構について解説する。これにより、現在の医用計測技術のみならず、これからの脳科学研究の理解のための基礎知識の充実を図る。中盤では、序盤で培った生体情報機構に関連の深い、基礎的な医用計測装置について計測手法や原理等について解説し、基礎知識とその簡単な応用について習熟する。終盤では、高度な医用計測装置や fMRI や MEG, NIRS 等の画像診断装置についても言及し、医用計測全般について理解を深める。 また、各自の理解度を客観的に認識してもらうために、各講義の最後に 10 分ほどレポート課題を課することがある。そのレポート課題は、講義で解説した内容に関して問うものであり、成績評価にも用いる。よって、予めしっかり準備したうえで講義に出席し、ノートをもとめるなどしっかりと復習しておくこと。

授 業 の 計 画	9 月 22 日 (水)	第1回 序論 医用生体に関する概要
	9 月 29 日 (水)	第2回 生体と工学の基礎1 ニューロンと神経活動1
	10 月 6 日 (水)	第3回 生体と工学の基礎2 ニューロンと神経活動2
	10 月 13 日 (水)	第4回 生体と工学の基礎3 感覚知覚と運動知覚
	10 月 20 日 (水)	第5回 演習1 生体と工学の基礎
	10 月 27 日 (水)	第6回 生体と計測1 生体信号の計測
	11 月 10 日 (水)	第7回 生体と計測2 生体信号の電気計測
	11 月 17 日 (水)	第8回 生体と計測3 生体信号と磁気計測
	11 月 24 日 (水)	第9回 演習2 生体計測の基礎
	12 月 1 日 (水)	第10回 医用計測1 医用計測と生体信号
	12 月 8 日 (水)	第11回 医用計測2 一般的な医用計測
	12 月 15 日 (水)	第12回 医用計測2 医用計測と脳科学
	12 月 22 日 (水)	第13回 医用計測3 医用計測と画像処置
	1 月 12 日 (水)	第14回 演習3 医用計測の基礎
	1 月 26 日 (水)	後期試験
成 績 評 価 の 方 法	定期試験またはレポート(40%) 演習・小問(20%) 参加姿勢(40%)	
遠隔授業に関する注意	◎原則的にリアルタイムで授業を配信し、質問など逐次対応し、双方向性を確保するので、開講時に在室し、参加することを原則とする。 ◎1～2回目の講義はガイダンスと生物学の基礎を主とすることで、各大学やキャンパスで「学期の開始日」の違いを考慮している。講義の録画を使って授業を行うが、ここでも出席をとり、レポートも課することがある。 ◎受講生は各学校各学科での基礎をしっかりと理解していることが望ましい。	
履 修 上 の 注 意	講義に出席し、講義内容の予習と復習(しっかりとノートに写すなど)を行うこと。公式などをすべて暗記する必要はないが、その内容を十分に理解することが大切である。	
質 問 , 相 談 へ の 対 応	随時講義中に対応するが、メールでも対応予定である。また、長時間の質問等で研究室での指導を望む場合や電話での質問を希望する場合は、あらかじめ連絡をすること。なお、質問は講義終了後(水曜日 11 時から 14 時半まで)が望ましい。	
教 科 書	医用工学入門 木村雄治著 コロナ社 3,000 円＋税	
参 考 書	講義中に紹介するので、購入しなくてよい。 (例:バイオサイコロジー 佐藤敬 他訳 西村書店 4,800 円＋税など)	

授 業 名	機械システム工学通論
開 講 期 間	後期（秋学期）
曜 日	水曜日
メイン教室（対面教室）	諏訪東京理科大学432教室
開 講 時 間	10:40～12:10
サブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	100名
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	専攻全教員（諏訪東京理科大学システム工学部機械システム工学科）
教 員 連 絡 先	TEL 0266-73-9836 メールアドレス t-tkms@rs.suwa.tus.ac.jp
授 業 の ね ら い	機械システム工学科で専門科目を担当する講師以上の全教員の各々の専門領域を各講義で概説することにより、当該学科で学ぶ多くの専門科目の有用性と多様性またそれらの関連性を認識させる。同時に、専門科目を学ぶための導入基礎教育を学習する重要性を明示し理解させる。
授 業 の 概 要	機械システム工学科に所属する講師以上の全教員が半期の間で1時間を担当し、各々の専門分野に関する学問領域とトピックスを概説する。当該学科で学ぶ専門科目が、社会や産業界でどのように使われ、どのように役立つかを認識する。

授 業 の 計 画	9 月 22 日 (水)	ナノテクノロジーの世界
	9 月 29 日 (水)	ものづくり入門
	10 月 6 日 (水)	自動車事故での死亡事故を減らすために
	10 月 13 日 (水)	流体力学入門
	10 月 20 日 (水)	ロボット工学入門
	10 月 27 日 (水)	拡散火炎の形状と性状
	11 月 10 日 (水)	コンピュータシミュレーション入門
	11 月 17 日 (水)	総括－ 1
	11 月 24 日 (水)	航空機概論
	12 月 1 日 (水)	機械制御入門
	12 月 8 日 (水)	環境エンジニアリング入門
	12 月 15 日 (水)	複素数とその応用
	12 月 22 日 (水)	ナノポーラスカーボンの基礎と応用
	1 月 12 日 (水)	総括－ 2
	1 月 26 日 (水)	後期試験
成 績 評 価 の 方 法	レポート 100 点	
遠隔授業に関する注意	◎基本的にリアルタイム授業を配信し、双方向性を確保するので、開講時に在室し、参加することを原則とする。 ◎各大学やキャンパスで開講時期や開講時間がずれる場合があるが、開講時までにスケジュールを確認して周知するので、全ての大学・キャンパスの受講生が受講できる授業日には必ず出席すること。スケジュールがずれる大学・キャンパスでは、講義の録画を使って授業を行うが、ここでも出席をとる。	
履 修 上 の 注 意	特になし。	
質問，相談への対応	eChes 上のメールで対応する。	
教 科 書	特になし。	
参 考 書	特になし。	

授 業 名	環境マネジメント
開 講 期 間	後期（秋学期）
曜 日	水曜日
メイン教室（対面教室）	諏訪東京理科大学 432 教室
開 講 時 間	13:00～14:30
サテライト教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	100 名
単 位 数	2 単位
教 員 氏 名	天野 輝芳（諏訪東京理科大学）
教 員 連 絡 先	TEL 0266-73-9674 メールアドレス amano@rs.suwa.tus.ac.jp
授 業 の ね ら い	先進企業の環境への取り組みは多岐にわたっている。企業価値の向上と競争力強化のため、ISO14001 の環境マネジメントシステムの PDCA をツールに、環境負荷低減、法順守とリスク低減、環境監査、環境技術開発とビジネス創出、グリーン調達、環境情報開示、環境管理会計など広範囲な活動を展開している。これらの活動を経営と統合する環境経営の理論と実践について学習する。受講者は、これら広範囲な知識とノウハウをマスターすることにより、将来、企業の環境関連部門のリーダーとしての素養を身につけてもらう。
授 業 の 概 要	① 持続可能な発展と環境経営についての概説 なぜ企業は環境経営に取り組むかを理解する。 ② ISO14001 に従った環境マネジメントシステム（EMS）の構築について、環境側面の洗い出しと環境影響評価、法規制順守のしくみづくり、環境監査の理解と演習により EMS 構築の骨子を理解する。 ③ 環境リスクマネジメントの要点と環境リスク感性向上プログラムについての学習と演習によってリスク感性の向上を実感する。 ④ RoHS&WEEE 規制とグリーン調達、REACH 規則と化学物質管理を題材に企業の化学物質管理の重要性和ビジネス創出のポイントを理解する。 ⑤ 環境配慮型設計と環境ビジネス創出の解説と事例紹介 LCA、カーボンフットプリント、エコプロダクツ開発とビジネス創出の基礎知識を習得する。 ⑥ 環境管理会計の手法であるマテリアルフローコスト会計（MFCA）の理論と応用事例を学習し、MFCA が環境と経営をつなぐ有力な手法であることを理解する。 ⑦ 環境情報開示と環境報告書 GRI ガイドラインを理解し、先進企業の事例分析により適切な評価ができる能力を習得すること。 ⑧ 企業の社会的責任の意義について自己の評価基準を確立する。

授 業 の 計 画	9 月 22 日 (水)	第 1 回 持続可能な発展と環境経営についての概説
	9 月 29 日 (水)	第 2 回 ISO14001 に従った環境マネジメントシステムの構築の概要
	10 月 6 日 (水)	第 3 回 環境側面の洗い出しと環境影響評価 (演習)
	10 月 13 日 (水)	第 4 回 環境法規制の順守のしくみづくり
	10 月 20 日 (水)	第 5 回 環境リスクマネジメントの要点
	10 月 27 日 (水)	第 6 回 環境リスク感性向上プログラム (演習)
	11 月 10 日 (水)	第 7 回 RoHS&WEEE 規制とグリーン調達
	11 月 17 日 (水)	第 8 回 中間試験
	11 月 24 日 (水)	第 9 回 REACH 規則と化学物質管理
	12 月 1 日 (水)	第 10 回 環境配慮型設計と環境ビジネス創出
	12 月 8 日 (水)	第 11 回 ライフサイクルアセスメント (LCA) と日本版被害算定型環境影響評価手法 (LIME) の統合
	12 月 15 日 (水)	第 12 回 環境管理会計とマテリアルフローコスト会計 (MFCA)
	12 月 22 日 (水)	第 13 回 環境情報開示と環境報告書 企業の社会的責任
	1 月 12 日 (水)	第 14 回 環境マネジメントシステム監査
	1 月 26 日 (水)	後期試験
成 績 評 価 の 方 法	出席 20% 課題 10% 中間試験 30% 最終試験 40%	
遠隔授業に関する注意	毎回レジメを web からダウンロードし、予習・復習をすること	
履 修 上 の 注 意	日頃の環境に関する事象に興味を持って授業に臨むこと	
質問, 相談への対応	eChes 上のメールにより都度受付ける, 面談を希望する学生は事前に申し込む	
教 科 書	特に指定しない	
参 考 書	・國部克彦・伊坪徳宏・水口剛(2007)『環境経営・会計』有斐閣アルマ ¥2,000 ・ジェニファー・クラップ/ピーター・ドーバーニュ著 仲野修訳(2008)『地球環境の政治経済』グリーンワールドへの道, 法律文化社 ¥3,500 ・鈴木敏央(2008)『新・よくわかる ISO 環境マネジメントシステムと内部監査ー改訂第 2 版』ダイヤモンド社 ¥2,300	

授 業 名	生態学B
開 講 期 間	後学期（秋学期）
曜 日	木曜日
メイン教室（対面教室）	長野大学4－302教室
開 講 時 間	8：50～10：20
サテライト教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10，11ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	20名
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	高橋 大輔（長野大学環境ツーリズム学部）
教 員 連 絡 先	TEL 0268-39-0017 メールアドレス d-takahashi@nagano.ac.jp
授 業 の ね ら い	1) 個体群，生物群集，生態系と様々なスケールでの生物同士の関係性や生物と非生物的環境との相互作用について理解する。2) 人間活動が生物間の相互関係に及ぼす影響について理解を深める。
授 業 の 概 要	人間を含め生物は単独で生活しているわけではなく，他の様々な生物と関係しながら日々を過ごしている。このような生物同士の関係性は一朝一夕で形成されたのではなく，気の遠くなるほど長い進化の過程を経て作り上げられたものである。我々が様々な自然の恵みを永続的に利用できる社会を築くためには，自然との健全な関係性とは何かを理解しなければならず，したがって生物同士がどのような相互関係を持ちながら地球上で共存しているのかを知る必要があるだろう。 本講義では，個体群，生物群集，生態系と様々なスケールでの生物同士の関係性や生物と非生物的環境との相互作用について概説する。また，人間活動がこれらの生物間の相互関係に及ぼす影響についても説明し，生命の豊かさ，すなわち生物多様性を保全する意義について考えていきたい。

授 業 の 計 画	9 月 30 日 (木)	ミクロスケールでの生物間相互作用：生態学 A の復習
	10 月 7 日 (木)	個体群 1：メタ個体群とは？
	10 月 14 日 (木)	個体群 2：個体群のサイクル変動
	10 月 21 日 (木)	生物群集 1：栄養段階と食物連鎖
	10 月 28 日 (木)	生物群集 2：生物群集の多種共存機構
	11 月 4 日 (木)	生物群集 3：植物の環境形成作用と植生遷移
	11 月 11 日 (木)	生物群集 4：気候とバイオーム
	11 月 18 日 (木)	生態系の機能と構造 1：現存量と物質生産の速度
	11 月 25 日 (木)	生態系の機能と構造 2：おもな元素の循環
	12 月 2 日 (木)	利他行動の進化 1：子の世話
	12 月 9 日 (木)	利他行動の進化 2：社会性昆虫における利他行動
	12 月 16 日 (木)	文化と遺伝子
	1 月 13 日 (木)	保全生態学 1：生物多様性とは？
	1 月 20 日 (木)	保全生態学 2：生物多様性の保全
	1 月 27 日 (木)	保全生態学 3：地球規模の環境問題
成 績 評 価 の 方 法	生物同士の関係性や生物と非生物的環境との相互作用および人間が生物間相互関係に及ぼす影響について十分に理解できたかどうかを重視する。期末レポート 60%，平常点（授業に関する質問等）40%	
遠隔授業に関する注意	◎基本的にリアルタイム授業を配信し，双方向性を確保するので，開講時に在室し，参加することを原則とする。	
履 修 上 の 注 意	特になし	
質 問 ， 相 談 へ の 対 応	メールもしくは eChes を通じて毎授業終了後に受け付ける	
教 科 書	特になし	
参 考 書	生態学入門（日本生態学会編 東京化学同人 2004 年 2,800 円）	

授 業 名	現代中国事情
開 講 期 間	後学期（秋学期）
曜 日	木曜日
メイン教室（対面教室）	長野大学4－302教室
開 講 時 間	12:50～14:20
カブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	20名
単 位 数	2単位
教 員 氏 名	宋 岩（長野大学客員教員）
教 員 連 絡 先	TEL 0268-39-0017 メールアドレス kyoumu@nagano.ac.jp
授 業 の ね ら い	現代中国を概観することを通して、中国社会の現状に関して基礎的な知識を学び、中国文化および中国社会に対する理解度を深めることを目指す。
授 業 の 概 要	近年、中国は急速な経済発展を成し遂げ、世界中から注目を浴びています。そこで、本講義では、中国社会を反映する代表的な題材を取り上げることによって、受講者に、中国社会の全体像を明らかにします。 具体的には、第一回の講義では、問題提示という形で、中国の急激な変貌とそれに伴うさまざまな問題を取り上げます。第二回以降、授業計画欄の順に、各テーマに焦点を当て、幅広い社会分野で現代中国社会に関して論じる予定です。

授 業 の 計 画	9 月 30 日 (木)	中国の変貌と諸問題
	10 月 7 日 (木)	中国の政治体制
	10 月 14 日 (木)	中国の文化, 風俗習慣
	10 月 21 日 (木)	中国の国土と資源
	10 月 28 日 (木)	中国の人口問題
	11 月 4 日 (木)	中国の経済変貌
	11 月 11 日 (木)	中国の対外貿易と海外進出
	11 月 18 日 (木)	環境問題
	11 月 25 日 (木)	貧富格差の問題
	12 月 2 日 (木)	社会保障と医療問題
	12 月 9 日 (木)	農村, 農業, 農民問題
	12 月 16 日 (木)	民族問題
	1 月 13 日 (木)	中日関係
	1 月 20 日 (木)	中国人の日本人観
	1 月 27 日 (木)	ふりかえりとまとめ
成 績 評 価 の 方 法	中間レポート, 最終レポートを総括して評価する。ただし, 出席率や授業態度なども考慮する。	
遠隔授業に関する注意	◎基本的にリアルタイム授業を配信し, 双方向性を確保するので, 開講時に在室し, 参加することを原則とする。	
履 修 上 の 注 意	◎講義の進度などによって, 講義内容や順序を変えることがある。	
質 問, 相 談 へ の 対 応	講義に質疑時間を設け, その時間帯で対応する。メールや研究室での指導も可。研究室での指導を望む場合は, 講師にあらかじめ連絡をすること。	
教 科 書	テキストを用いず, 授業ごとにレジュメと資料を配布する, 参考文献はその都度紹介する。	
参 考 書	1. 『現代中国論』(北海道大学教授 高井潔司) 2. 『現代中国辞典』(安藤彦太郎) 3. 『現代中国を見る目』(加藤祐三) 4. 『中国の改革開放30年の明暗』(佐々木信彰)	

授 業 名	新聞と私たちの社会（信濃毎日新聞寄附講義）
開 講 期 間	後期（秋学期）
曜 日	金曜日
メイン教室（対面教室）	信州大学全学教育機構 6 1 番講義室
開 講 時 間	10:40～12:10
Web 教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	30 名
単 位 数	2 単位
教 員 氏 名	加藤 鉦三（信州大学全学教育機構）、加藤 善子（信州大学全学教育機構）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-37-2256 メールアドレス kinoene@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	この講義は、新聞の作られ方・読み方・社会での役割を学ぶことを通じて、社会への関心を高めるとともに、正確な情報を獲得したうえで、自分の頭でさまざまな社会の事象を考察するための基礎的な能力を養うことを目的とする。 私たちは、政治や社会、経済に関する情報を、新聞やテレビをはじめとするマス・メディアを通じて、獲得している。この講義では、信濃毎日新聞社の方々と隔週でゲストスピーカーとしてお招きし、新聞の作られ方や読み方、社会での役割などについて、現場の感性を生かして講演していただくが、ゲストスピーカーの講演の前の週には、そのお話を聞く準備をするための作業を授業中に行う。その作業は、ある事象（ここではゲストスピーカーの講演の内容）の、その事象を取り巻くより大きな事象の中での位置付けや意味付けを自分の頭で考えるための準備となる。そのような作業を経た上で現場感覚豊かなゲストスピーカーの講演を聞くことにより、『一を聞いて三を推察する』想像力と論理構成力を養うことがこの授業の目的である。
授 業 の 概 要	この授業では、2週で1クールとする。ゲストスピーカーの講演は各クールの第2週に行われる。各クールの第1週では、その講演内容に関する情報や文脈を見て、講演内容の中の特定の事象について、その意味を考えるための準備作業を行う。その作業は、例えば次のような内容になる。 テーマ（例）： 家庭・家計に見られる事実から、政権交代の意味を探る 与える資料： 過去の新聞記事のうち、家庭・家計に関する記事を5つ選び、受講生に配布する 受講生の作業： (1) 記事を読んで、そこから読み取れることを探る (2) 記事を作成した側の方に質問する内容を整理しておく (3) 仮のレポートを授業中に作成する クール第2週は講演を聞くが、受講生は講演を聞きながら適宜そのレポートを手直しする材料もしくは「材料のもと」を講演から聞き取り、自宅学習でそのレポートを完成する。 また、受講者は、日本新聞協会の「HAPPY NEWS キャンペーン」に応募する（新聞を読んで、400字以内のエッセイを書く）。

授 業 の 計 画 (事情により変更する 場合があります)	10月1日(金)	第1回 ガイダンスと「新聞というもの」
	10月8日(金)	第2回 記事をつくる1:次週の講演に備える準備作業
	10月15日(金)	第3回 記事をつくる2:講演:報道部の方のお話
	10月22日(金)	第4回 写真は何を伝えるか1:次週の講演に備える準備作業
	10月29日(金)	第5回 写真は何を伝えるか2:講演:写真部の方のお話
	11月12日(金)	第6回 紙面をつくる1:次週の講演に備える準備作業
	11月19日(金)	第7回 紙面をつくる2:講演:整理部の方のお話
	11月26日(金)	第8回 新聞は生活をどう伝えてきたか1:次週の講演に備える準備作業
	12月3日(金)	第9回 新聞は生活をどう伝えてきたか2:講演:文化部の方のお話
	12月10日(金)	第10回 スポーツ報道に映る時代性1:次週の講演に備える準備作業
	12月17日(金)	第11回 スポーツ報道に映る時代性2:講演:運動部の方のお話
	12月24日(金)	第12回 民主主義を支える新聞?1:次週の講演に備える準備作業
	1月7日(金)	第13回 民主主義を支える新聞?2:講演:論説委員の方のお話
	1月21日(金)	第14回 広告という紙面1:次週の講演に備える準備作業
	1月28日(金)	第15回 広告という紙面2:講演:広告局の方のお話と全体のまとめ
成 績 評 価 の 方 法	期末試験は行わない。成績は各回のレポートのみで算出する。なお、日本新聞協会の「HAPPY NEWS キャンペーン」への応募を奨励するが、応募した場合は5点ないし10点(内容によって点数を決定する)を最終成績に可算する。 5回以上欠席した学生には、単位が認定されない。	
遠隔授業に関する注意	◎基本的にリアルタイム授業を配信し、双方向性を確保するので、開講時に在室し、参加することを原則とする。 ◎各大学やキャンパスで開講時期や開講時間がずれる場合があるが、開講時までにスケジュールを確認して周知するので、すべての大学・キャンパスの受講生が受講できる授業日にはできるだけ出席するよう心がけられたい。スケジュールのずれる大学・キャンパスでは、講義の録画を使って授業を行うが、ここでも出席をとり、かつグループワークを行うので、出席が前提となる。	
履 修 上 の 注 意	ゲストスピーカーをお招きして開講する科目であるので、教えを受けるものとして失礼のないような受講態度を心がけられたい。講義の進行を妨げるような遅刻や早退は、厳に慎まれたい。 第1回目の講義において、多数の受講希望者がいた場合には、教育効果を考慮して、受講制限を行うことがある。毎回、講義に出席する意欲のある者のみ受講されたい。	
質 問 , 相 談 へ の 対 応	eChes 上のメールで対応する。また、研究室での指導を望む場合は、講師にあらかじめ連絡をすること。 各回の講義の内容に関する質問については、毎回、授業時間中に質疑応答の時間を設ける。 履修の手続や成績評価に関する質問については、コーディネーター(加藤鉦三)が受け付ける(研究室:全学教育機構棟南校舎4階、メールアドレス:kinoene@shinshu-u.ac.jp、オフィスアワー:毎週木曜日12時30分から13時まで)。 日本新聞協会のHAPPY NEWS キャンペーンについては、同キャンペーンのウェブサイト参照されたい(URL: http://www.readme-press.com/happynews/)。	
教 科 書	使用しない。	
参 考 書	授業中に指示する。	

授 業 名	大学院生向け英作文
開 講 期 間	後期（秋学期）
曜 日	金曜日
メイン教室（対面教室）	信州大学全学教育機構 211 番演習室
開 講 時 間	16:20～17:50
カブ教室（遠隔受講教室）	遠隔授業受講教室（配信・受信）一覧（10, 11 ページ）参照
遠隔授業受講学生定員	30 名
単 位 数	なし
教 員 氏 名	加藤 鉦三（信州大学全学教育機構）
教 員 連 絡 先	TEL 0263-37-2256 メールアドレス kinoene@shinshu-u.ac.jp
授 業 の ね ら い	No relation between one's character and appearance is approved medically. この英文は、「人の性格と外見との間には医学的には関係が認められない」ということを意図したものであるが、実際にはそう解釈することはできない。と言うのは、日本語の「認める」には、「月面には生物は認められない」のような「見られない」の意味と、「その行為は認められない」のような「許可」の意味があるが、approve には、後者の「許可」の意味しかないからである。 このように、日本人の書く英文は、（文法的な誤りを除けば）エラーの多くは ・日本語の解釈が十分でなく ・「意味」を考えないで「訳語」で対応する英語表現を探す というところに起因する。 このクラスでは、受講生の英作文に見られる誤りを通して、 ・「訳語」ではなく「意味」を考えて英文を書く という訓練を行う。 なお、授業の材料は受講生の書いた英作文であるので、前期の授業と内容が重なることはない。後期の授業にとって、前期の授業の受講は、内容的に前提でもないし、履修上の条件でもない。
授 業 の 概 要	授業は次のようにして進める。 受講生は、与えられたテーマに従って 2 パラグラフ程度の英文を書き、メールで提出 教員はそれを添削し、受講生に戻す 受講生は自分が添削された部分について - 何が間違っているのか - どうして間違っているのか - どう直せばいいのか を教員にレポートする その後、受講生のエラーのうち「皆のためになる」ものについて、皆で考える。

授 業 の 計 画	10月1日(金)	ガイダンス, 作文の指示
	10月8日(金)	以下, 「授業の概要」で示したサイクル
	10月15日(金)	
	10月22日(金)	
	10月29日(金)	
	11月12日(金)	
	11月19日(金)	
	11月26日(金)	
	12月3日(金)	
	12月10日(金)	
	12月17日(金)	
	12月24日(金)	
	1月7日(金)	
	1月21日(金)	
	1月28日(金)	期末試験
成績評価の方法	期末試験で評価するが, 単位認定はできない	
遠隔授業に関する注意	◎基本的にリアルタイム授業を配信し, 双方向性を確保するので, 開講時に在室し, 参加することを原則とする。 ◎各大学やキャンパスで開講時期や開講時間がずれる場合があるが, 開講時までにスケジュールを確認して周知するので, すべての大学・キャンパスの受講生が受講できる授業日にはできるだけ出席するよう心がけられたい。スケジュールのずれる大学・キャンパスでは, 講義の録画を使って授業を行うが, ここでも出席をとり, かつグループワークを行うので, 出席が前提となる。	
履 修 上 の 注 意	【単位について】 この授業は信州大学での『大学院共通教育』の可能性を模索する実験授業であり, 正規の授業ではないため, 単位は出ない。 【学部生の受講について】 この授業は「大学院生向け英作文」という名称であるが, 学部生の受講を制限するものではない。「自分は英語が好きで, 英作文の力を伸ばしたい」と人に向かって言えるなら, 学部生であっても受講できる。	
質問, 相談への対応	eChes 上のメールで対応する。また, 研究室での指導を望む場合は, 講師にあらかじめ連絡をすること。	
教 科 書	なし	
参 考 書	必要に応じて追って指定する。	

7 大学別学年暦・通常授業講義時間

【学年暦】※下記は、各大学の抜粋となります。

	前 期			後 期		
	授業開始	履修登録締切	試験期間 ※印は、前期授業終了日	授業開始	履修登録締切	試験期間 ※印は、後期授業終了日
信 州 大 学 (共 通 教 育)	4月9日	4月22日	7月26日 ～8月2日	10月1日	10月18日	1月26日 ～2月2日
長野県看護大学	4月13日	4月20日	1～3年 ※～8月9日	10月1日		※～2月14日
佐 久 大 学	4月8日	4月16日	7月30日 ～8月5日	9月27日	10月1日	2月4日 ～10日
清泉女学院大学	4月6日	4月20日	※～7月28日	9月24日	10月1日	※～1月26日
諏訪東京理科大学	4月8日	4月15日	7月24日 ～8月6日	9月21日	10月4日	1月20日～ 2月1日・3日
長 野 大 学	4月7日	4月16日	7月29日 ～8月5日	9月21日	9月30日	2月4日 ～11日
松本歯科大学	4月12日	4月16日	7月20日 ～28日	9月6日		1月11日 ～21日
松 本 大 学	4月8日	4月14日	8月2日 ～10日	9月27日	10月1日	2月3日 ～14日

【通常授業講義時間】

大学名	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
信 州 大 学	9:00-10:30	10:40-12:10	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50	18:00-19:30
長野県看護大学	9:00-10:30	10:40-12:10	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50	
佐 久 大 学	9:00-10:30	10:40-12:10	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50	
諏訪東京理科大学	9:00-10:30	10:40-12:10	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50	
清泉女学院大学	9:00-10:30	10:40-12:10	12:55-14:25 (12:55-13:45)	14:35-16:05 (13:55-15:25)	16:15-17:45 (15:35-17:05)	
長 野 大 学	8:50-10:20	10:30-12:00	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40	17:50-19:20
松本歯科大学	9:00-10:30	10:40-12:10	13:10-14:40	14:50-16:20	16:30-18:00	
松 本 大 学	9:40-11:10	11:20-12:50	13:30-15:00	15:10-16:40	16:50-18:20	18:30-20:00

※清泉女学院大学の（ ）は月曜日の講義時間

高等教育コンソーシアム信州

<http://www.c-snet.jp/>

高等教育コンソーシアム信州事務局

TEL 0263-37-2427 FAX 0263-36-3044

MAIL office@c-snet.jp